指宿市考古博物館
時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ

平成９年度

博物館年報・紀要

第２号

指宿市教育委員会

序

時遊館ＣＯＣＣＯはしむれは、指宿市の文化情報の発信・市民と観光客の交流の場として、平成８年４月２０日にオープンいたしました。この博物館は、南に約4.2ヘクタールの国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡が広がる、野外の遺跡と博物館が一体となった施設です。

指宿市は、天然砂蒸し温泉で有名な国際観光温泉保養都市です。この博物館では、温泉を含む雄大で恵まれた自然とそこに息づいた指宿の先人たちの歴史と文化を紐解く施設として、「自然と隼人いきづく文化」というメインテーマが設定されています。

この冊子は、そうした指宿市考古博物館 時遊館ＣＯＣＣＯはしむれの平成９年度の活動の状況をまとめたものです。この一年の間、時遊館ＣＯＣＣＯはしむれでは、市民の皆様に向けて、様々な行催事を企画してまいりました。

おかげさまで、ご来館いただいた方々のほとんどが「来てよかった。」「楽しかった。」「また来たい。」とおっしゃって頂いております。これをはげみに、今後とも、よりよい博物館をめざしてまいりたいと思います。

はじめてのことも多く、各方面の方々にご協力なくしてはできなかったことも多かったと存じ上げます。ご協力頂いた各位に対して深甚の感謝の意を表わしたいとおもいます。

指宿市考古博物館
時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ
館　長　　山下隼雄

目　次

（年報編）

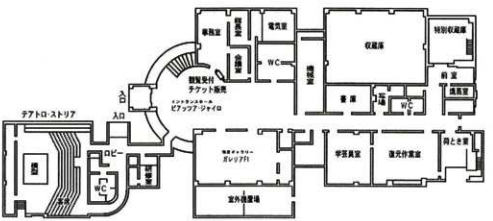
指宿市考古博物館　時遊館ＣＯＣＣＯはしむれの施設概要　1
指宿市考古博物館　時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ　平成９年度の事業について　3
１．時遊館ＣＯＣＣＯはしむれの事業　3
２．各事業の実績と展開　4
◆博物館事業の部
（１）開館一周年記念事業　4
（２）ＣＯＣＣＯ歴史セミナー（全４回）　5
（３）古代にチャレンジ（古代住居宿泊体験）　6
（４）チャレンジ夏休み自由研究　7
（５）企画展『敷領遺跡発掘調査速報展』　12
（６）企画展『弥生の王国－吉野ヶ里遺跡の宝物展－』　13
（７）ミニ企画『迫田遺跡発掘調査速報』コーナー開設　15
（８）博物館資料収集活動（実物資料・書籍等・写真等）　16
（９）博物館資料保存・修復活動　17
（10）博物館教育・普及活動（ミュージアムティーチャー会による解説活動）　18
（11）ミュージアムティーチャー研修会　18
（12）『ＣＯＣＣＯだより』の発刊　19
（13）図録・ミュージアムグッズの頒布　43
（14）カフェの委託　43
（15）博物館広報・ホームページ管理　44
（16）博物館実習生受け入れ　45
（17）いぶすきシルバー美術展　46
（18）指宿市文化祭　47
◆　後援・共催・協賛事業の部
（19）いでゆ会発表展示会　47
（20）あざみの会発表展示会　47
（21）日韓交流美術展　47
（22）市民講座・寿大学作品展　47
◆　発掘・調査の部
（23）国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡等範囲確認調査　48
（24）ふるさと農道整備事業に伴う発掘調査　48
（25）丈六地区下水道敷設に伴う発掘調査　48
（26）広域農道整備に伴う確認調査　48
（27）敷領遺跡確認調査　48
（28）丈六・摺ヶ浜線道路拡幅工事に伴う発掘調査　49
（29）耕地事業に伴う確認調査　49
（30）県営畑地帯農道網整備事業に伴う確認調査　49
◆　指定文化財管理の部
（31）国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡買上事業　53
（32）国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡管理　53
◆　刊行物の部
（33）『弥生の王国－吉野ヶ里遺跡の宝物展－』展示図録　53
（34）国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡等範囲確認調査報告書　53
（35）丈六・摺ヶ浜線道路拡幅に伴う確認調査報告書　53

(36) 敷領遺跡発掘調査報告書 53
(37) 時遊館ＣＯＣＣＯはしむれパンフレット 53
指宿市考古博物館　時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ平成９年度の入館者推移表 55
指宿市考古博物館　時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の設置及び管理に関する条例 55
（紀要編） 60
寄贈資料集成表 61～64
比志嶋（紀伊守）家古文書（一） 65～77

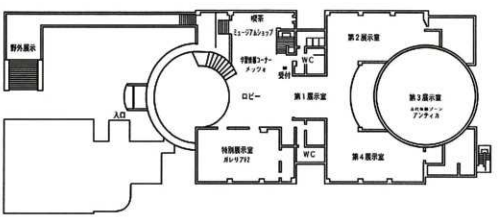
年　報　編

指宿市考古博物館　時遊館ＣＯＣＣＯはしむれの施設概要

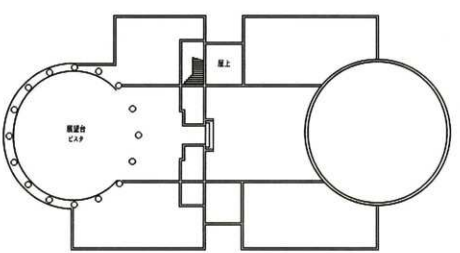
１階平面図



２階平面図



３階平面図



博物館建設事業の概要

・所在地	鹿児島県指宿市十二町２２９０番地
・敷地面積	４，９００㎡
・建築面積	１，５００㎡
・延床面積	３，１６３㎡
・展示面積	８３０㎡
・構造	鉄筋コンクリート造２階建
・総事業費	１９億３千万円
・工期	着工平成６年１０月～完成平成８年３月
・建築設計・監理	安井建築設計事務所
・施工建築主体工事	株式会社間組・迫田建設株式会社共同企業体
・電気設備工事	株式会社佐電工
・展示工事	株式会社丹青社
・空気調和設備工事	川本工業株式会社
・給排水衛生設備工	有限会社丸山水道工務店
・Ｃ・Ｇ製作株式会社	アイ・エヌ・エー

ふるさと歴史の広場事業の概要

＜ガイダンス施設＞

・建築面積	４２６㎡
・延床面積	４２３㎡
・構造	鉄筋コンクリート造
・総事業費	３億４千万円（史跡整備費含）
・工期	着工平成５年７月～完成平成８年３月
・建築設計・監理	株式会社空間文化開発機構
・施工建築主体工事	興南建設株式会社
・電気設備工事	有限会社オーデン
・空気調和設備工事	南栄設備株式会社
・給排水衛生設備工事	九州電気水道株式会社
・模型設置工事	株式会社京都科学
・映像製作委託	株式会社オフィス・トゥ・ワン

時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ全景

指宿市考古博物館　時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ
（指宿市教育委員会社会教育課文化係）
平成９年度の事業について

１．時遊館ＣＯＣＣＯはしむれの事業

時遊館ＣＯＣＣＯはしむれでは平成９年度において以下の事業を行った。

＜博物館事業の部＞

（１）開館一周年記念事業
（２）ＣＯＣＣＯ歴史セミナー（全４回）
（３）古代にチャレンジ（古代体験学習）
（４）チャレンジ夏休み自由研究
（５）企画展『敷領遺跡発掘調査速報展』
（６）企画展『弥生の王国－吉野ヶ里遺跡の宝物展－』
（７）ミニ企画『迫田遺跡発掘調査速報』コーナー開設
（８）上野原遺跡写真展
（９）市民講座・寿大学作品展
（10）博物館資料収集活動（実物資料・書籍等・写真等）
（11）博物館資料保存・修復活動
（12）博物館教育・普及活動（ミュージアムティーチャー会による解説活動）
（13）ミュージアムティーチャー研修会
（14）『ＣＯＣＣＯだより』の発刊
（15）図録・ミュージアムグッズの頒布
（16）カフェの委託
（17）博物館広報・ホームページ管理
（18）博物館実習生受け入れ
（19）指宿シルバー美術展
（20）指宿市文化祭

＜後援・協賛事業の部＞

（21）いでゆ会発表展
（22）あざみの会発表展
（23）日韓交流美術展
（24）市民講座・寿大学作品展

＜発掘調査の部＞

（25）国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡等範囲確認調査
（26）ふるさと農道整備事業に伴う発掘調査
（27）下水道敷設に伴う発掘調査（丈六地区）
（28）広域農道整備に伴う確認調査
（29）敷領遺跡確認調査
（30）丈六・摺ヶ浜線道路拡幅工事に伴う発掘調査
（31）耕地事業に伴う確認調査
（32）県営畑地帯農道網整備事業に伴う確認調査

＜文化財保護の部＞

（33）国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡管理　　（35）国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡買上事業
（34）市指定文化財管理

＜刊行・編集書籍等＞

（36）『弥生の王国－吉野ヶ里遺跡の宝物展－』展示図録　（39）チラシ・パンフレット印刷
（37）国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡等範囲確認調査報告書
（38）丈六・摺ヶ浜線道路拡幅工事に伴う確認調査報告書

2．各事業の実績と展開

◆ 博物館事業の部

（1） 開館一周年記念事業

＜インターネット講座＞

a．目的　現在、世界の博物館では、インターネットを用いた情報発信が行なわれており、博物館情報を自宅で検索することができるなど、博物館の考え方も多様になってきている。そこで、きたる高度情報化社会に向けて、インターネットに親しみ、様々な情報を検索する手段を学ぶ。

b．日時　『インターネット超基礎講座』　平成９年５月４日（日）午後３時～午後５時
『体験インターネットシアター』 平成９年５月５日（月）午後１時～午後３時

c．場所　時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ『歴史劇場』

d．内容　２日間に分けて講座を行なった。１日目は『インターネット超基礎講座』と題し、インターネットの考え方などをマルチメディアビジネスセンター職員の協力を得て実施した。２日目はインターネットの使い方を中心に『体験！インターネット』と題し、自由にインターネットにアクセスして、その使い方を学んだ。

インターネット講座タイムスケジュール

午後　3：00	ようこそインターネットの世界へ
午後　3：30-4：00	インターネット探検（鹿児島のホームページ・博物館のホームページ・各種アニメのホームページ・ちょっとティータイムドラえもんクイズ）
午後　4：00-5：00	ホームページの作成（こどもインタビューやデジタルカメラによる情報の取り込みと情報の発信のしかた）の実際

e．主催　指宿市・指宿市教育委員会

f．実績　『インターネット超基礎講座』では、約27名の聴講者が参加し、『体験インターネットシアター』では、のべ49名の参加があった。参加者は、計76名であった。子ども連れが多く、やや出入りがあったものの、実際にインターネットを使うことで、その楽しさを理解したものと思われる。また、参加者の意見では、数回程度の講座として、体系的に学びたいという要望も寄せられた。

インターネット　講座風景

（2） COCCO歴史セミナー（全４回）

a．目的　博物館に関わりのある自然・歴史分野について広く教養を深め、合わせて、博物館の利用促進をはかる。

b．日時・題目

第１回　平成９年９月７日（日）午後３：00～午後４：00
後藤和文　鹿児島大学農学部教授
「現代にマンモスがよみがえるのか」

第２回　平成９年９月２７日（土）午後３：00～午後４：00
成尾英仁　鹿児島県立博物館学芸員
「遺跡に見る噴火と地震」

第３回　平成９年１０月１８日（土）午後３：00～午後４：00
向山勝貞　鹿児島経済大学企画広報室長
「南九州の仮面」

第４回　平成９年１１月２２日（土）午後３：00～午後４：00
三木　靖　鹿児島短期大学長
「今　解き明かされる南九州の山城の謎」

c．場所　時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ　ガレリアＦ１（１階講堂・ギャラリー）

d．主催　指宿市・指宿市教育委員会

e．実績（参加者数）

第１回　５５名
第２回　４７名
第３回　４０名
第４回　４４名

ＣＯＣＣＯ歴史セミナー風景

（3） 古代にチャレンジ（古代住居宿泊体験）

時遊館ＣＯＣＣＯはしむれと隣接する国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡とを有機的に結びつけて活用する事業として、「古代にチャレンジ」を実施した。

ａ．目的　現在、豊かで暮らしやすい環境のもと、何ら不自由なこともなく過ごしている子供達に、古代人の生活や忘れられてしまった古代人の素晴らしい知恵と技を自らの体で体験させ、古代人が自然とともに豊かな生活をしていたことを肌で感じ取らせ、古代への関心を高める。

ｂ．日時　古代にチャレンジ　平成９年８月２３日～２４日
　　学習発表会　　平成９年１１月８日

ｃ．場所　古代にチャレンジ　時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ、および国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡
　　学習発表会　　鹿児島市名山小学校（鹿児島県主催『文化財少年団サミット』）

ｄ．内容
　８月１７日（日）
　　事前説明会
　８月２３日（土）午後１時～
　　「古代にチャレンジ」結団式・体験発掘調査・ＣＯＣＣＯはしむれ裏方見学・ＣＯＣＣＯはしむれクイズラリー・古代食体験・古代人からのメッセージ（キャンドルサービス）・古代住居宿泊体験
　８月２４日（日）午前７時解散
　　朝食・「古代にチャレンジ」解散式
１１月　８日（土）午前１１時～午後３時５０分
　　学習発表会（鹿児島県主催『文化財少年団サミット』）にて発表

ｅ．成果
　　子ども達の自主性を尊重し子供達の考えで判断、活動させることを中心として古代人の生活に触れさせる事業として、昨年度来第２回目の事業である。
　　子供達は、古代人の生活を未開で、貧しく、野蛮だというイメージが強かったようだが、「古代にチャレンジ」に参加した後は、自分たちの直接の先祖が豊かな自然と共に、素晴らしい文化を築いていたことを発見したようである。
　　参加者　古代にチャレンジ　指宿市内小学校児童１１名
　　学習発表会（文化財少年団サミット）　小学校児童４名、中学校生徒１名

古代住居宿泊体験

（4） チャレンジ夏休み自由研究

博物館の活動の一つには、市民への研究活動の支援が挙げられる。今回は、小学校、中学校生を対象に、夏休みに自主的に調査・研究に取り組もうとする子どもたちを積極的に支援し、特に、資料調査法について習得させることを目的に、学習支援活動の一環として、本事業を行った。

a．目的　子どもたちの自由な発想や興味を伸ばすと同時に、その発想や着眼点を検証していく作業や方法を実践的に行うことによって、科学的な思考を着実に習得する。

b．日時　第１回　平成９年７月２４日（木）午前１０時～午前１１時
第２回　平成９年７月３１日（木）午前１０時～正午
第３回　平成９年８月７日　（木）午前１０時～正午
学習発表会　平成９年１１月８日（土）午前１１時～午後３時５０分

c．場所　チャレンジ夏休み自由研究 時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ復元作業室
学習発表会　鹿児島市名山小学校（鹿児島県主催『文化財少年団サミット』）

d．内容

第１回　自由研究テーマについての相談・例示、研究方法の例示、関連図書の紹介。すでに自分で研究テーマを決めている子どもについては、関連図書の紹介や研究方法についてアドバイスを行った。
研究テーマの決まっていない子どもについては、歴史・地理分野の自由研究の素材や方法について例示し選択してもらった。

第２回　中間指導。子どもたちが１週間の間に調べた内容について簡易な発表を行なってもらい、また、質問を受けて、その解決方法や研究のまとめに向けてのアドバイスを行なった。

第３回　成果の発表と評価。各自の研究成果を発表する。自由研究の内容についてそれぞれ評価しあう。時遊館ＣＯＣＣＯはしむれロビーにてパネル展示による研究成果の展示を行う。

学習発表会　鹿児島県主催『文化財少年団サミット』にて発表

e．成果

参加人員が３名と少なかったが、いきとどいた指導が可能となったと考えられる。特に、研究テーマに沿って、３回で終了する予定であったが、実際は、その間に幾度となく書籍などの資料を借りにくるなど、子どもたちの積極的な取り組みが見られた。継続的な研究を２週間にわたり取り組むことによって、調査・研究の方法を実践的に学ぶことができたと考えられる。

チャレンジ夏休み自由研究

ネアンデルタール人

北指宿中学校１年　実熊祥平

１．ネアンデルタール人の発見

ドイツのネアンデル川岸の洞窟で発見された。しかし、はじめはごみ同然の扱いを受けていて、捨てられたりしたそうだ。

洞窟では、ダイナマイトが使われ工事が行われた。それで、たくさん残っていたかもしれないネアンデルタール人の化石は、粉々になってしまった。

２．マルセラン・プールの間違い

ドイツ国立自然史博物館のマルセラン・プールは、はじめてネアンデルタール人の復元をやった人類学者である。

プールの復元によると、ネアンデルタール人の姿はこのようなものだった。

① 身長170㎝。ヨーロッパ人としては低めである。
② 体重70kg
③ 頭は長く、ややつぶれた形で、後頭部がでっぱている。臓の部分はふくらんでいる。
④ 顔の幅が広く、前方に突き出し、大きい鼻をもっている。
⑤ 手が大きくエスキモー人に近い。

プールの復元では、ネアンデルタール人はゴリラとチンパンジーの中間のような生物で、とても人とは言えないものだった。プールも、ネアンデルタール人を人類の祖先ではなく、人類の亜種といっている。

今では、この考えが間違っているとされている。つまり、ネアンデルタール人は、現代人に近い人類と考えられている。

３．ネアンデルタール人について現在一番有力な説

1997年７月12日の南日本新聞には、ネアンデルタール人は人類の祖先ではないと書かれていた。ＤＮＡ鑑定の結果、ネアンデルタール人は、現代人とチンパンジーの中間の生物であるということだ。ぼくは、ＤＮＡ鑑定についてはあまり信用していない。

４．自分の仮説

ネアンデルタール人は一部が全滅し、一部はクロマニヨン人と雑婚して進化したと考えている。

その理由は、クロマニヨン人の洞窟の中でネアンデルタール人の石器が発見されていること。後期ネアンデルタール人の骨がクロマニヨン人に近づいていること。クロマニヨン人とネアンデルタール人の化石の発見地が非常に近いことがある。

５．進化の証拠

後期ネアンデルタール人の骨では、「おとがい」が出ており、後頭部がへこんできていること。つまり、クロマニヨン人の特徴を備えてきている。このことは、雑婚を裏付ける証拠と考えている。

６．おわりに

ネアンデルタール人を調べたが、とても難しかったことが印象に残りました。

ザ・古墳

丹波小学校６年　豊留大和

１．調べはじめたきっかけ

ぼくは、学校で古墳時代のことを知りました。そして古墳のことについてもっと知りたくなりました。夏休みになって博物館にいく機会があって、そこの先生がとても楽しい話をしてくれたので、それを自由研究にしようと思いました。

２．古墳ってなんだろう

３世紀末から７世紀にかけて造られた天皇や豪族の墓。円墳・方墳・上円下方墳・前方後円墳などの形がある。

３．なぜ古墳は造られたのかな

弥生時代からの稲作の広まりは、身分の差をどんどん広げていった。その結果、大きな権力を持った支配者があらわれることになったが、彼らは死後の世界にまで、自分達の力を示そうと考えた。これが古墳と呼ばれる巨大な墓です。

４．ぼくのたどりついた説

最初にぼくは、前方後円墳の前方部にももうひとつの部屋があると思っていました。しかし、調べていくうちに、それが違うことがわかりました。そこでぼくは、前方後円墳が何かの道具をまねて造られたのではないかという考えにたどりつきました。

なぜ前方後円墳の形はできたのか

①　方墳と円墳をくっつけてできた

②　山頂を削って造ったら，かぎ穴のような形になった

（ぼくの説）

③　なにかの道具をまねて造った（例えば鈴）

５．最後に

この古墳時代のことを調べていると、もう学校で習ったあとなのに、自分が知らないことがたくさんでてきておもしろかった。

古墳の分布を書いている時に、九州の福岡あたりに古墳が集中していることに気付いた。福岡に邪馬台国があったという考えは本当なのかもしれない。まだまだ知らないことがあるかもしれないから、またの機会に調べてみようとおもう。

おしゃれ縄文人

丹波小学校６年　中水悠二

１．始めた理由

ぼくが、この自由研究を始めた理由は、縄文人に色々興味を持っていたからです。その中でも、現在と縄文時代の衣装の違いを調べてみたくなったからです。

２．これまでわかっていたこと

縄文人は服を作っていた。縄文人は、美しい石や鹿の角、貝殻、動物の骨などを使って首飾りを作ったり、長い髪の人はかんざしをしたり、大きさや形の様々だった耳飾りをしたり、占い師などは、腕輪をしたり、よく人がアクセサリーをしていた。

服は、カラムシの繊維の糸で編むが、かなり時間がかかっていた。この布の名前をアンギンという。他にも靴があった。靴は縄文人に欠かせないものだった。そして縄文人は化粧もしていた。祭りなどでは、ベンガラというもので化粧をしていたと考えられている。特別な時だけでなく、彩りもしていた。

布にも色々な種類がある。

①　アンギンという編み物
②　もじり編みという編み物
③　織布という織物

３．調べた内容

①アンギン・もじり編み・織布の出土例
②土器の底についた布のあと（アンギン）の実物の型をとった
③毛皮を加工する道具（スクレーパー）を博物館で調べた
④材料の毛皮をとった猪の骨が貝塚から出土した例を調べた
⑤服の手掛かりの土偶の模様を調べた

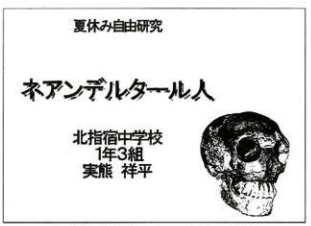
４．わかったこと

①縄文人は、布を作っていたが、アンギン・もじり編み・織布の３種類だった。
②毛皮も使っていたと考えられる。
③土偶の模様や①と②から服はこうだったと考えられる。

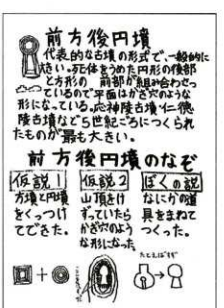
５．感想

ぼくがこの自由研究をやってすごいとおもったことは、縄文時代の人は、全部自分達で考えて作っているということです。今はほとんど機械でやっているけど、大昔の人は手作業でやっています。だから、古代人はすごい能力を持っていたんじゃないかなと思いました。

丹波小学校６年　中水　悠二



北指宿中学校１年　実熊　祥平



丹波小学校６年　豊留　大和

（5） 企画展『敷領遺跡発掘調査速報展』

国民の共有財産である埋蔵文化財の調査の成果を還元し、文化財保護思想について啓発することは極めて重要な業務の一環である。

a．目的　敷領遺跡の発掘調査では特に奈良・平安時代の集落、古墳時代の集落、弥生時代の住居など貴重な発見があったため、その成果を社会に還元するとともに、発掘調査の流れを展示し、文化財保の護啓発活動を行なう。また、博物館の活性化を図る。

b．会期　平成９年４月２９日（火）～平成９年７月１３日（日）

c．場所　時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ特別展示室

d．内容　指宿市敷領遺跡の発掘調査で出土した奈良・平安時代の墨書土器をはじめとして、奈良・平安時代の集落を中心に指宿市の律令時代の集落について展示、解説した。また、古墳時代の住居や弥生時代の住居などを紹介した。
さらに、発掘調査の進め方（発掘調査現場写真や発掘調査の道具、報告書作成の道具や方法など）を展示した。入場無料。

e．成果　博物館では、常に何か新しい事業やおもしろい催し物を開催しているというイメージが、博物館の活性化のためには必要である。今回の展示では、特に、発掘調査の速報的な内容で、報告書刊行時点までの発掘調査成果の公開のあり方としても大きな意味があった。
来館者からは、普段見ることができない発掘調査の進め方などについて実際の展示物に触れながら見学することができ、理解しやすかったとの感想もいただいた。
速報展の観覧客数は、期間中3,124名（期間中入館者数10,258人）であった。

速報展風景Ⅰ

速報展風景Ⅱ

（６） 企画展『弥生の王国－吉野ヶ里遺跡の宝物展－』

博物館の活動の一環として考えられるものに企画展示・特別展示がある。これらの企画展示は、日頃の博物館の調査・研究成果を一般に還元するだけではなく、日常見ることのできない資料を公開することで文化意識の高揚をはかることができる。

また、通常、博物館における常設展示は、恒常的な資料展示を目的とするのに対し、企画展示・特別展示は短期的に、テーマを持って行なうものである。このことによって、博物館へのリピーターを増やし、博物館を活性化させることができると考えられる。

ａ．目的　鹿児島県では、上野原遺跡をはじめとして、縄文時代の遺跡が数多く発見され、極めて社会的関心が高くなってきている。ここ指宿市では、国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡があり、縄文土器と弥生土器の新旧関係を地層を用いて分けた遺跡として大正１３年に国指定史跡指定された。このことからも、当博物館では、弥生時代遺跡の代表的存在である吉野ヶ里遺跡の重要文化財を公開し、縄文時代から弥生時代への差異性を明確にしたい。また、博物館の活性化を果たし、リピーターの確保を行いたい。

ｂ．会期　平成１０年１月１日（木）～平成１０年２月１日（日）

ｃ．場所　時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ　２階特別展示室

ｄ．内容　展示会名称『弥生の王国－吉野ヶ里遺跡の宝物展－』

サブテーマ
（１）世界の中の弥生時代
（２）『魏志倭人伝』の中の弥生時代
（３）吉野ヶ里遺跡の宝物
（４）解明される弥生の王国
（５）弥生の王国と吉野ヶ里遺跡
（６）縄文時代、弥生時代、そして古墳時代へ

主な展示品

把頭飾付き有柄細形銅剣	（吉野ヶ里遺跡）	実物
ガラス製管玉	（吉野ヶ里遺跡）	実物
細形銅剣（４）	（吉野ヶ里遺跡）	実物
把頭飾（１）	（吉野ヶ里遺跡）	実物
柚比本村遺跡出土の玉飾漆鞘	（柚比本村遺跡）	複製　等

企画展示図録　２４ページ

関連イベント
・関連映画の映写会『邪馬台国が見えてきた』毎日２回（於　歴史劇場）
・講演会『吉野ヶ里遺跡　秘話』講師　中摩浩太郎　社会教育課主事
（平成１０年１月２４日午後２時～午後３時　於　講堂ギャラリー）

ｅ．成果

入場者数　２，０１３名
講演会入場者数　６８名

把頭飾付き細形銅剣などの吉野ヶ里遺跡の出土資料は、しばしば教科書にも登場する著名な資料であり、実物資料を見る機会が少ないものである。また、国の重要文化財として、わが国の弥生時代の社会を理解する上で貴重なものである。来館者からも好評の声が聞かれた。このような企画展を今後も継続的に実施していくことで、指宿市の文化の高揚がはかられると同時に、博物館の活性化につながるもの

と考えられる。

この展示会の開催の効果については、1月までの入館者数は前年度比で平均50.1ﾊﾟｰｾﾝﾄで、約半数に減少している。一方、1月の入館者は前年度比で76.2ﾊﾟｰｾﾝﾄであり、企画展の開催により、入館者の減少に歯止めをかける大きな効果があったと考えられる。

展示室風景Ⅰ

展示室風景Ⅱ

吉野ヶ里遺跡出土
把頭飾付有柄銅剣

（７）ミニ企画 『迫田遺跡発掘調査速報』コーナー開設

指宿市迫田遺跡は、指宿市十二町堂ノ後で本年度新たに発見された古墳時代の集落遺跡である。この遺跡では土器集中廃棄所と呼ばれる遺構や住居跡などが発見されている。

同時代の遺跡は、指宿市内では橋牟礼川遺跡、片野田遺跡、敷領遺跡、尾迫谷迫遺跡、宮之前遺跡などが知られているが、これらの遺跡の分布は、指宿市内では大きく３ヶ所に偏在する傾向がある。つまり、６世紀代の指宿市では、いくつかの単位集落に分かれていたことが考えられる。

このような成果を基に、平成９年１１月１５日に現地において報道発表を行なった。同時に、この成果を直ちに市民に還元するため、常設展示室のコーナーを設け、出土品や写真などを展示し、指宿市の古墳時代の集落配置の様相についての展示を提示した。

ａ．目的　迫田遺跡の古墳時代集落遺跡の発見に伴い、出土した遺物や写真を展示し、６世紀代（古墳時代）の指宿の集落配置について速報的に展示し、常設展示の中にも若干の展示変化を持たせると同時に、常設展示の付加価値を高める。

ｂ．会期　平成９年１１月１８日（火）～平成１０年２月１７日（火）

ｃ．場所　時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ常設展示室（第４展示室）

ｄ．内容　入場料は常設展示観覧料。迫田遺跡の土器集中廃棄所から出土した土器、軽石製陰石、磨石、凹石、写真パネル、解説パネル、新聞掲載記事などを展示。

ｅ．成果　常設展示室は、基本的には恒常的な展示内容を提示する所であるが、新発見や学説の変化などに応じて部分的に改変し、常に新しい内容を盛り込むことも重要である。今回のコーナーの開設は一時的なものであるが、それでも常設展示室に新しい情報を付加する試みとして重要である。

来館者は新しい情報が付加されていることを知り、常に、新しい情報が加えられていることに好意的な印象を持つことと考えられる。

土器集中廃棄所検出状況

（8） 博物館資料収集活動（実物資料・書籍等・写真等）

a．目的　博物館の基幹をなす事業の一つとして、資料の収集活動を実施した。
b．場所　特別収蔵庫・復元作業室
c．内容　今年度は、旧専売公社跡地倉庫内に収蔵されていた民俗資料・文書資料等のリストの作成と、近世初期の文書について寄贈申し込みがあり、それを受け入れた。
※　平成9年度の収集資料のリストは紀要編に掲載しています。

資料リスト作成風景

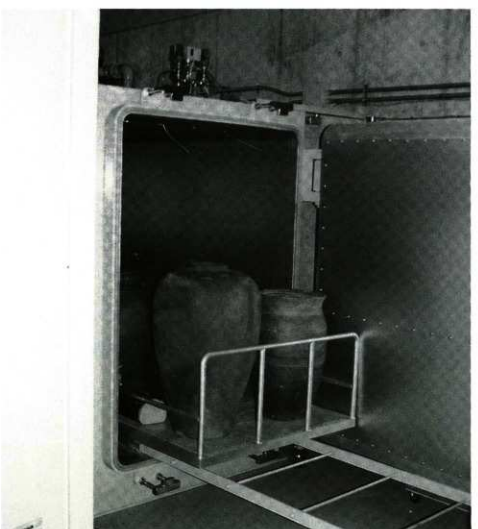
特別収蔵庫内風景

特別収蔵庫内風景

（9）博物館資料保存・修復活動（実物資料・書籍等・写真等）

a．目的　博物館の基幹をなす事業の一つとして、資料の保存・修復活動を実施した。
b．場所　復元作業室
c．内容　今年度は、旧専売公社跡地倉庫内に収蔵されていた民俗資料・文書資料等について、燻蒸作業を実施した。燻蒸作業は、殺かび、殺虫を期して行なった。
d．燻蒸実施実績

平成９年６月　４日～６月　５日　古文書燻蒸
６月２４日～６月２５日　古文書燻蒸
６月２６日～６月２７日　民具燻蒸



くん蒸作業実施状況

(10) 博物館教育・普及活動（ミュージアムティーチャー会による解説活動）

a．目的　博物館の教育普及活動の最も基礎的な業務の一つである常設展示の案内・解説について、恒常的な情報の提供、教育普及効果の向上を目的にミュージアムティーチャー制度を導入した。安定したサービスの供給に向けて、MT会と委託することによって成立している。

b．内容　ミュージアムティーチャーの組織は下記のとおりである。

ミュージアムティーチャー４名　案内・解説業務
アシスタントティーチャー３名　受付、もぎり業務、および案内・解説業務の補助

開館日は、ミュージアムティーチャー（以下ＭＴと略す。）２名、アシスタントティーチャー（以下ＡＴと略す。）２名が受付に勤務する体制をとり、ＭＴはそれぞれ歴史劇場、常設展示室に常駐し案内・解説業務にあたる。

c．成果　ミュージアムティーチャーの解説活動については、来館者から、「他の博物館では、ゆっくりと説明をしてもらえないが、時遊館ＣＯＣＣＯはしむれでは、丁寧な説明・案内があって分かりやすい。」というような評価が多い。今後も継続して恒常的に案内・解説業務の提供を行なっていくことが必要である。

(11) ミュージアムティーチャー研修会

a．目的　研修会を通じて、ミュージアムティーチャーやアシスタントティーチャーの資質を向上し、博物館において、より高い質のサービスを提供することを期する。
b．場所　歴史劇場研修室
c．内容　全５回の研修会を実施した。
第１回：平成９年８月２７日（水）
・開館以降、現在までの展示案内、サービス上の問題点と改善策について
・第３展示室（体験ゾーン）の運営と活用について
・学習プログラムの開発について（１）
第２回：平成９年９月２４日（水）
・学習プログラムの開発について（２）
・「古代の火おこし」プログラムについて（１）
第３回：平成９年１０月２２日（水）
・「古代の火おこし」プログラムについて（２）
・「体験！土器のもようつけ」
第４回：平成９年１０月２２日（水）
・ワークシート作成の基礎資料収集
第５回：平成９年１１月２６日（水）
・ポイント解説、案内について

(12) 『COCCOだより』の発刊

情報紙『COCCOだより』における広報

時遊館COCCOはしむれにおいては、市民もしくは市外の多くの方々の生涯学習の場として博物館を活用してもらうために、博物館での開催行事の情報提供と文化情報の発信を行なっている。

COCCOだよりは、平成９年３月号から毎月発行しており、平成１０年３月号で、通算２０号を数えている。

時遊館COCCOはしむれ　お報せ版　第9号　平成9年4月1日　発行　指宿市教育委員会　社会教育課

COCCOだより
4月号

COCCOはしむれ もうすぐ1年

4月20日で開館1年

歴史劇場でのひとこま
修学旅行や遠足でも県内外の生徒たちがたくさん訪れてくれました。

平成8年4月20日の開館からもうすぐ1年。『屋厚焼展』や『ユージアムコンサート』、『考古学セミナー』などなど、様々な催しにご協力、ご来館いただきありがとうございました。入館いただいたお客様も7万3千人を越え、全国でも指折りの考古博物館として評判、雑誌にも度々紹介されました。平成9年度も、開館初年度以上にユークな運営を行なってまいります。皆様のご来場をお待ちしております。

春の花々にさそわれて

押し花展開催

先着50名様押し花無料体験も

5月3、4、5日の3日間、押し花展が開催されます。期間中午前10時から正午までと午後2時から4時までの時間で、先着50名様に限り、押し花はがき作りの無料体験サービスもあります。是非この機会に押し花作りを体験してみませんか。皆様のお越しをお待ちしております。

主催　鶴窪まさみフラワーデザインスクール
協賛　ワールドプレスフラワー協会

平成9年度(第7回)
指宿市青少年海外派遣
参加者募集のお知らせ

姉妹都市オーストラリアのブロックハンプトン市でホームステイしながら同市の青少年との交流をしてみませんか。詳細はお問い合わせ下さいのとおりです。

研修期間　平成9年7月21日～8月11日（21泊22日）
募集人員と応募資格　市内在住の心身ともに健康な中・高生、15名
応募方法と応募先　応募申込用紙（市内の学校にあります）で、学校長推薦書に作文「青少年海外派遣に応募して」（四百字詰原稿用紙3枚程度）を添えて、教育委員会社会教育課までご応募下さい。市外学校に通学中の方はCOCCOはしむれ内社会教育課に応募申込用紙がございます。

募集期間　平成9年4月7日～同月24日まで
費用　四十万三千円（内補助金二十五万円）
お問い合わせ　COCCOはしむれ内社会教育課社会教育係
電話　23-5200

古代に想いをはせて

はしむれの春を詠む

3月4日、市民講座俳句教室の俳句会がCOCCOはしむれで行なわれました。野外の国指定史跡を散策した後、古代に想いを馳せながらの俳句会。今月より、3回に分けて作品をご紹介してまいります。

見廻され赤面すすり古代偲ぶ
地牢礼の古墳の息都今そ見る
早春に遺跡たづねて古代食
春先やはしむれ川に古代鈴
素敵な作品、ありがとうございました。

古代からの手紙　その三

桜の季節となりましたが、皆さまおかわりないでしょうか。

今回は、柳田校区の遺跡を訪ねてみたいと思います。弥次ヶ湯の敷領遺跡が最近発掘されたそうですが、わたしの姉が敷領に嫁いでいました。敷領には、広い田んぼや、それを管理する施設もありました。秋の収穫のときには、鉄鎌を持ってよく手伝いに行ったものです。発見された出土品は現在教育委員会のほうで整理中と聞いております。どんなものが見つかったのか、私もその結果を心待ちにしているところです。懐かしい品々があるかもしれません。柳田校区には、他にも道上、道下、上玉利、下玉利、それから現在の市役所のあたりにと古代の遺跡がたくさんあります。昭和20年代には、指宿高校に郷土研究部があって、校区をはじめ指宿の歴史研究の基礎を築いてくれました。あれから50年あまり、古代の生活の様子もずいぶん分かってきたようですが、まだまだ皆さんの知らないことがらもたくさんあります。どうぞ私たちの残したメッセージを読み取って下さい。その日を楽しみにしています。それでは、また。

はしむれ村　ここまろ

抜歯

COCCOまんが道場

縄文時代の風習に「抜歯（ばっし）」といわれるものがあります。犬歯や切歯の前歯を抜いてしまうのです。抜歯は15才くらいから始まり、若いほど抜歯の本数が少なく、年をとるほど多くなります。抜歯は、まず15才のころの「成人式」の儀式として行なわれたと考えられています。健康な歯を無理やり抜くことはさぞかし痛かったでしょうが、その痛みにたえて初めて大人の仲間入りができたのです。その後も結婚や身内の死などの人生の節目ごとに歯を抜いたと考えられています。"にっ"と歯を見せて笑い合った縄文人の笑顔にはその人の人生がきざまれていたのです。

古代こぼれ話

日本最古のトイレは、今のところ、藤原京（六九四～七一〇）で発掘された汲取り式と水洗式のトイレです。遺跡から見つかる四角い穴をトイレと判定するには、その土の中に寄生虫の卵が残っているがどうかがポイントになります。ご不浄やはばかりなどと呼ばれ、隠されることの多かったトイレは、記録も少なく、その復元が大変難しいのです。

4月の休館日

7日（月）14日（月）21日（月）23日（水）の4回です。詳しくは当館までお尋ね下さい。電話23－5100

COCCOだより

指宿市考古博物館「時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ」お報せ版

５月号

ゴールデンウィークは　ＣＯＣＣＯへおいで

ありがとう開館１周年記念企画目白押し

ＣＯＣＣＯはしむれでは、開館１周年を記念して、多彩なイベントを企画しました。皆様お誘いあわせのうえ、おいでください。

ミニ企画展「発掘調査の裏側見せます」
敷領遺跡発掘調査速報

４月29日（火）～特別展示室　入場無料
「発掘調査ってどうやるの？」
敷領遺跡の最新調査成果をまじえ、発掘調査の舞台裏をご紹介します。

大画面ＢＳ（衛生放送）シアター

歴史劇場の高精細スクリーンでＢＳ放送を放映します
５月３日（土）午後７時30分～９時55分　入場無料
ＳＦ映画の記念的作品　ｽﾀﾝﾘｰｷｭｰﾌﾞﾘｯｸ監督作品

2001年宇宙の旅

５月４日（日）午後１時～２時42分 入場無料
ｽﾃｨｰﾌﾞﾏｰﾁﾝ主演
せつなくおかしいラブコメディー

いとしのロクサーヌ

COCCO名画鑑賞会

４月29日（火）　午後７時～９時 入場料500円
主演　ゲーリー・クーパー！
アメリカンデモクラシーの不屈の強さをダイナミックに描いた大作

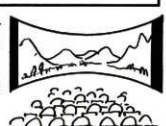
MEET JOHN DOE
群集

ひらけ！宇知へのとびら
探検インターネットの世界

大画面でのインターネット探検！パソコンがもっと楽しくなる。
５月４日（日）　午後１時～３時　歴史劇場　無料

体験インターネットシアター

のぞいてみようインターネット！情報世界の広がりを実際に体験してみよう！
５月５日（月）　午後３時～５時　歴史劇場
入場料は無料です



歴史劇場新作映画上映会

「ひらけ！大地のタイムカプセル」に続くＣＯＣＣＯはしむれオリジナル映画第２弾！！

『4004』

４月29日（火）　午前９時～　30分おきに上映
入場料が必要です

親子で挑戦パソコンゲーム

５月３日（土）～５日（月）　参加無料
ちょっと苦手なパソコンも楽しいゲームで楽々克服！

まだまだあるよ！裏に続く

春を満喫!押し花展

5月3日（土）～5日（月） 入場無料
期間中先着50名様に限り、押し花はがき作りの無料体験サービスもあります。

主催　鶴窪ますみ
　　フラワーデザインスクール

体験!レスキュー自動車

5月3日（土）午後1時30分～3時00分
消防自動車や救急車が橋牟礼川遺跡に大集合！体験試乗会もあります。お子様連れでどうぞ！

古代の料理が第1位

すてっぷあっぷの古代懐石が郷土料理コンテストで優秀賞受賞

さる3月29日、鹿児島観光アカデミー（鹿児島県調理連合会、県観光連盟）主催の郷土料理コンクールで、古代懐石を中心に作ったメニュー参加22の作品の中から第1位の優秀賞に選ばれました。COCCOはしむれでもあちこちから昼食の予約が入るほどの人気ぶり。スタッフの皆さんが心を込めて作る味が、新しい指標の名物になろうとしています。

古代からの手紙 その四

もう初夏をおもわせる陽気のこの頃ですが、みなさまかおすごしでしょうか。

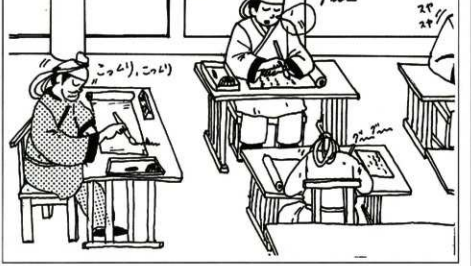
今回は、私のふるさと丹波校区の遺跡を訪ねてみたいと思います。私の住んでいましたはしむれ村の周りにもたくさんの村がありました。現在の丹波小学校のあたりや摺ケ浜近辺、山手の片野田や丈六とそれはそれはにぎわっていたものです。今頃の季節には、農作業のあいまをぬって、よく貝掘りへ出かけたものです。波打ち際にたたずむあのひとに出会ったのもうらうらかな春のことでした。

長い髪を後ろ手に結った、笑顔のやさしいひとでした。胸元には美しい青いガラスのネックレスがありました。左手には純白の貝のブレスレットを2つつけていて、彼女が手を振るたびに「カランカラン」とやわらかく涼しげな音色が響いたものです。

あれから随分と時間が経ちました。海辺の景色もすっかり様変りしましたが、春の海を見るたびに、耳の奥であの音色がこだまします。

はしむれ村
ここまろ

春眠暁を覚えず　COCCOまんが道場



奈良～平安時代になると各地に国府や都衙（ぐんが）とよばれる役所が置かれるようになり、日本の官僚システムの原形ができあがりました。奈良時代の都、平城京には、約八千人の役人が働いていたと推定されています。

夜明けとともに官城周辺の大路は、出勤してくる役人たちであふれ、開門と同時にその人波がドッと中へ吸い込まれていく、現代サラリーマンの出勤と変わらぬ光景が毎日繰り広げられていたのです。

春の遠足!!にぎわう時遊館

ゴールデンウィークに続き、時遊館は遠足の児童・生徒たちで連日にぎわっています。市内の柳田小学校、丹波小学校をはじめ、県内各地の学校から来館がありました。５月は36の学校の皆さんにおいでいただきました。一番の人気は、古墳時代の村をそのまま復元した第３展示室。ドーム状のスクリーンに映しだされる光の演出で、古代の一日を再現すると大きな歓声があがっていました。

５月に来館いただいた学校

指宿養護学校、柳田小、魚見小、大川内小、上場小、清水小、宇宿小、丹波小、財部北小、赤木名小、勝目小、瀬戸内連合小、諏訪小、岩岡小、竜美小、伊津部小、今町小、竜美小、大黒小、赤江小、沖水小、小松台小、土橋小、大成小、大王小、荒木小、上高鉄小、清水中、谷山北中、山遊中、桜山中、緑ヶ丘中、喜入中、武中、福平中、明和中

ありがとうございました

COCCOだより

指宿市考古博物館「時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ」お報せ版

６月号

団員募集
第９回指宿市少年の船
トッピーでいく屋久島

世界遺産の島「屋久島」の大自然にふれてみませんか

期　間　７月23日（水）～25日（金）２泊３日

研修内容　屋久島環境研修センター見学
大自然ふれあい探訪登山など

募集人員　高校生６名、中学生12名、小学生12名
（小学生は５、６年生。男子15名、女子15名）

申込先　希望の方は各地区単位子ども会育成会長さんまで参加申込書を提出して下さい。

申込は６月15日（日）までです。

お問い合わせ　ＣＯＣＣＯはしむれ内社会教育課
電話２３－５２００まで

作品募集!
第８回シルバー美術展

シルバー美術展は、60歳以上の方々の絵画作品を県内から公募し、約200点を一堂に展示するユニークな美術展です。洋画、日本画、水彩画、版画、ちぎり絵など円熟した作品の数々をご堪能ください。また、指宿市教育委員会では、作品を募集しています。詳しくは下記事務局までお尋ね下さい。

会期/平成９年８月３日(日)～17日(日)
会場/時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ

事務局　時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ内
社会教育課文化係　電話23-5100

COCCOまんが道場

「草木も眠る丑三つどき、人形に釘を打って憎いあのひとに呪いを・・・」千二百前の都平城京で確かにそれをした人がいた証拠が見つかりました。井戸の中から目と胸に木釘をさされた人形が出土したのです。こうした呪いの儀式は、唐からつたわったとの説もあります。天平元年には、平城京でも呪詛（じゅそ）を禁止する命令がだされています。はたしてこの呪人形はなぜ釘を打たれたのでしょうか。

色恋のもつれか、はたまた、政治の陰謀か？謎は深まるばかりですが、いつの世も人の業の深さは図り知れないものです。

古代からの手紙　その五

雨が多くて洗濯物も乾きにくい季節になりましたが、いかがお過ごしでしょうか。今回は指宿校区の遺跡を訪ねてみたいと思います。まず、道上、道下地区に古墳時代の村がありました。中福良には、ここは、皆さんの時代にずっと近いのですが、江戸時代から明治の頃まで、お寺がありました。残念ながらこのお寺は廃仏毀釈で壊されてしまいました。また、大園原には、縄文時代の村があってたくさんの村人が暮らしていたと聞いています。4年前には、家の絵が描かれた土器片が見つかったということで話題になったようです。今、皆さんが暮らしているほとんどのところに私たち古代人も暮らしていました。住みよいところは、今も昔もかわりません。私の村が消えてからもう一五〇〇年もの時が過ぎ去りました。幸いにも指宿は、開聞岳の噴火にも負けずに新しい歴史を築いてきています。きっと私の子孫にあたる子供たちも元気でいるはずです。その子たちにCOCCOはしむれで会えるのを楽しみに待っています。

はしむれ村　ここまろ

人権感覚を高めよう

昔、夫婦と老人と4才になる子、4人が一緒に住んでいました。老人は、年をとって食べ物をこぼし、汚らしくよごすようになりました。

そこで、夫婦は老人をテーブルでなく、物陰で食べさせることにしました。老人は淋しさをため、ため息をつきましたが何も言いませんでした。

老人は、ますます年をとり、手がふるえて不自由になりました。そして、ある日、老人は、陶器の食器を落として壊してしまいました。

夫婦はこれからも壊されてはかなわないので、老人には、粗末な木の皿をあてがうことにしました。4才の子がしばらくして、木片を刻んでいるのを夫婦が見かけました。

「坊や、何をしているの？」

「木でお皿を作ってるの」

「そのお皿何をするの」

「うん、僕が大きくなるころには、パパもママも年をとるだろう。そのころ、このお皿ができあがるから、これでごはんを食べさせてあげるの。」

夫婦はびっくりして老人を元どおりテーブルにつかせ、陶器の食器で食事をさせることにしました。

「グリム童話集」より

中尾迫遺跡発掘調査はじまる

中尾迫遺跡の発掘調査が６月18日に始まりました。現場は、農面道路から南に入った水迫付近の山林で、古墳時代～弥生時代の遺跡があるようです。調査は、９月末まで行なわれる予定です。その他、７月初旬には、向吉地区で下水道配管に伴う発掘調査もはじまります。国分市上野原遺跡の発見に沸く南九州ですが、指宿市内をはじめ、県内各地で様々な遺跡の調査が進められています。中尾迫遺跡や向吉遺跡では、どんな発見があるのでしょうか。今後が楽しみです。

COCCOだより

指宿市考古博物館「時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ」お報せ版

７月号

指宿市中高生 ふるさとの集いのお知らせ

美化活動・スポーツを通じて市内の中・高校生の親睦を図り、心身ともに健康な青少年の育成をめざして「中高生ふるさとの集い」を開催します。多数の参加をお待ちしております。

日時　平成９年８月13日（水）
会場　指宿市総合体育館及びその周辺
対象　市内在住の中・高校生、育成者と指導者
申込期限　７月15日（水）午後５時まで
申込場所　社会教育課（ＣＯＣＣＯはしむれ内）
活動内容　体育館周辺・付近海岸の美化活動
　　とバレーボール大会

昨年のバレーボール大会の優勝は小牧Ａチームでした。今年はどのチームに栄冠が輝くのでしょうか？参加チームの皆さん頑張ってください。

平成９年度歴史セミナー開催

山城 地震 マンモス 仮面

平成９年度の歴史セミナーが次の日程で開催されます。時間はいづれも午後３時～４時30分まで。聴講は無料です。皆様ふるってご参加ください。

第１回７月26日（土）
三木靖先生（鹿児島短期大学教授）
演題「薩摩の山城について」（仮題）

期日未定
成尾英仁先生（県立博物館学芸員）
演題「南九州の火山と地震のメカニズム」（仮題）

期日未定
後藤和文先生（鹿児島大学教授）
演題「現代にマンモスはよみがえるか」（仮題）

期日未定
向山勝貞先生（鹿児島経済大学）
「南九州の仮面」（仮題）

COCCOまんが道場

産婦人科の病院では、出産して退院する時に生まれた時の赤ちゃんの手形や足形をつけてくれるところがあります。縄文時代にもよく似た風習があったようです。東北地方や北海道の縄文後期の遺跡から、粘土に子どもの手形や足形をつけて焼き物にした土製品が見つかっています。土製品の端には小さな穴があけられていて、どうやらつり下げられていたもののようです。手形・足形の大きさから推測すると、新生児ではなく満1才前後の乳幼児のものと思われます。

誕生日に無病息災を願ってつけたものでしょうか。子どもの成長を願う気持ちは今も昔も変わらないようです。

遺跡から出土した手形や足形

チャレンジ夏休み自由研究

夏休み、歴史や大地のことを調べてみませんか？COCCOはしむれスタッフが自由研究のアドバイスをします！

1. 期日　7月24日、31日、8月7日の3回
2. 会場　COCCOはしむれ
3. 対象　市内在住の小学6年生・中学生
4. 定員　20名
5. 募集期間　7月1日～7月20日
6. 応募方法　お電話にて申し込みみください。定員になりしだい締め切らせていただきます。
7. 申込先・お問い合わせ
   電話23-5100　社会教育課文化係

古代からの手紙　その六

初夏の日差しがまぶしいこの頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。今回は、魚見校区の遺跡を訪ねてみたいと思います。魚見岳の西側の麓には、弥生時代～古墳時代の頃の集落がありました。現在の上吹越、五郎ヶ岡、魚見小学校付近から土器や石器が見つかっているようです。知林ヶ島の海底からも土器が見つかったと言われていますが、詳しい事はまだ分かっていません。知林ヶ島付近には、私も小さな舟でよく釣りに出かけました。アジにアラカブ、タイに伊勢エビ。イカもたくさん釣れました。釣針は、鉄製の立派なものを使っていたのですが、時折、フグに噛み切られ残念な思いをしたものです。さて、今回で市内6校区の遺跡を訪ね終わりました。ひょっとしたら、もっと未来の人々に、今の皆様の暮しぶりを遺跡として紹介する機会があるかもしれません。その時まで、しばらく筆を休めたいと思います。またの日を楽しみにしています。ごきげんよう。

はしむれ村　ここまろ

作品募集　第8回シルバー美術展

シルバー美術展は、県内から公募した60歳以上の方々の絵画作品約二百点を一堂に展示するユニークな美術展です。洋画、日本画、水彩画、版画、ちぎり絵などの円熟した作品をご堪能ください。また、教育委員会では、市民の皆様の作品を募集しています。詳しくはCOCCOはしむれまでお尋ねください。

会期　平成9年8月3日～17日
会場　COCCOはしむれ
電話　23-5100

第8回シルバー美術展開幕

会期　8月3日(日)午前11時30分～17日(日)
会場　時遊館COCCOはしむれ
シルバー美術展は入場無料です

第8回を迎える指宿シルバー美術展が8月3日から17日まで開催されます。今回も県内各地より、洋画、日本画、水彩画など二百点を越える応募がありました。7月26日に作品の搬入を終え、8月3日の開幕に向けて準備が進められています。8月3日午前11時30分からは開所式を行います。期間中、多数の皆様のご来場をお待ちしております。

見学者でにぎわう会場、第7回のときの様子

～人権感覚を高めよう!～

８月は、人権問題啓発強化月間です。私たちの身近な問題としてとらえ、同和問題をはじめとする様々な差別事象に対し、自分自身を変えることからはじめましょう。

【人権啓発ラジオ番組「明日も天気になあれ」の紹介】
①放送局　ＦＭ鹿児島（ミューＦＭ）
②放送枠　毎週日曜日午前10：55～10：59’10”
③放送期日　７月～12月　全26回
④番組名　「明日も天気になあれ」
⑤テーマ　８月「部落差別の問題」
９月「女性差別の問題」
10月「外国人差別の問題」
11月「障害者差別の問題」
12月「人権問題」

【人権・同和問題啓発映画のテレビ放送の紹介】
番組名　「サンセットサンライズ」（放送局　ＭＢＣ）
放送日　平成９年８月９日（土）午前10：15～11：10

古代に想いをはせて

竪穴の住居に一人座すときに
古代語しゃべる
美女がほしかり

弥生人の霊宿るか褒稽の
内なる闇をおそれ覗きぬ

素朴なる竪穴住居に住みたしと
贅沢好きの現代人は言ふ

ＣＯＣＣＯはしむれ解説員
井上栄一郎氏作

歴史セミナー開催のお知らせ

第２回以降の平成９年度歴史セミナーの開催日程が下記のとおり決まりました。
多数の皆様のお越しをお待ちしております。

第２回　９月７日（日）午後３時 ～
「現代にマンモスは蘇るか」
講師　後藤和文先生（鹿児島大学）

第３回　９月27日（土）午後３時～
「火山と地震のメカニズム」（仮題）
講師　成尾英仁先生（県立博物館）

第４回　10月25日（土）午後３時～
「南九州の仮面」（仮題）
講師　向山勝貞先生（鹿児島経済大学）

COCCOだより
指宿市考古博物館「時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ」お報せ版
８月号

平城京には、約八千人の役人が勤務していました。彼らがどんな仕事をしていたかといえば、基本的には今の役所とそれほど変わりはありません。租税を見積もって財政を算定したり、宮殿や寺院の造営・改築など様々な仕事をしていました。当時の役人たちにとって大きな関心事は人事考課だったようです。木簡とよばれる木のカードに出勤日数や仕事ぶり、人柄や道徳性など事細かな勤務評定が記録されていました。毎年の評定を「考」といい、その評価は下級役人が上中下の3段階、五位以上の位には9段階があり、4年～6年の間の勤務評定によって位があがっていました。ちなみに出世の条件は、まず勤務日数で、常勤の役人は一年の3分の2以上、非常勤の役人は、百四十日以上の勤務が必要でした。

地名の謎に迫る

今回より、故小川亥三郎先生の著書『南九州の地名』の中から指宿に関連する地名についてシリーズで紹介させていただきます。第1回は、まず『指宿』についてです。

第1回『指宿』

平安時代の古文書『和名抄』には、揖宿郡は「以夫須岐」（イフスキ）と書かれていました。古来より揖宿の読み方については、イフスキとユフスキの2つの流れがあり、中世～近世には、ユフスキの呼び名がしばしば登場します。日本語には「行く」をユクというようにイ音とユ音と読替える性質があるようです。では、「ユフスキ」にはどんな意味があるのでしょうか。古来より指宿は温泉街として知られ、湯之口、湯の浜、湯の里など「湯（ユ）」のついた小字は三十箇所近くあり、中世には「湯豊宿」とも表記されていました。ユフスキのフは、「生（ウブ）」があてられていたと考えられています。「生」は芝生と書くように植物が生い茂る場所を意味する言葉でしたが、それが転じて何かがたくさんある場所をさす意味にも使われるようになりました。また、古代の朝鮮半島では村のことをスキと呼んでいて、指宿の「スキ」はそのなごりではないかといわれています。つまり、指宿の語源はユフスキ「湯生村」で、それが長い歴史の中でイフスキ→イブスキと変化したと考えられています。

古代の南薩地方

続報！中尾迫遺跡

西方中尾迫遺跡の発掘調査が始まって、1ケ月が過ぎました。炎天下の中発掘調査作業員の皆さんの苦労も大変です。現在、約二千年前の弥生時代の遺物が出土しはじめました。遺跡は見晴らしの良い大地の上にあります。きらきら光る夏の海を弥生人たちも見たはずです。また一つ、指宿の古代が明らかになろうとしています。

ＣＯＣＣＯだより

指宿市考古博物館「時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ」お報せ版

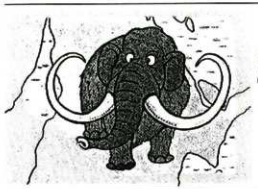
９月号

お問い合わせ
23-5100

緊急報告

マンモスは現代によみがえるのか

平成９年度の歴史セミナーがいよいよ今月からはじまります。第１回目のテーマは「マンモス」。映画ロストワールド（ジュラシックパーク）でも話題のバイオテクノロジー技術を使ってマンモスを現代に蘇らせようという壮大な計画が日本とロシアの間で進められています。今回はその研究プロジェクトの第一人者、鹿児島大学の後藤和文先生をお迎えして、最新のマンモス発掘調査情報もあわせてご講演いただきます。この機会お聴きのがしなく！



日時　９月７日（日）午後３時
会場　ＣＯＣＣＯはしむれ
演題　「マンモスは現代に蘇るか」

古代に学ぶ！開聞岳が噴火する？

第２回の歴史セミナーは９月27日（土）、午後３時からです。開聞岳の火山活動について精力的な研究をされている県立博物館の成尾英仁先生をお迎えして「遺跡に見る噴火と地震」と題してお話いただきます。頻発する薩摩半島の地震。噴煙をあげつづける桜島。そして、鏑牟礼川遺跡を埋め尽くした開聞岳。

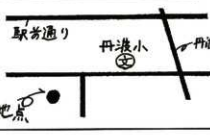
火山国鹿児島は大丈夫？将来、開聞岳は噴火するの？などなど、火山の謎にお答えします。

さわやかバレーボール中高生ふるさとの集い

8月13日、市体育館において中高生三百七十人が参加して、汗やかにふるさとの集いが行なわれました。中高生がいっしょになって美化活動やバレーボールで汗を流し、異年齢間の交流を深め、楽しい一日を過ごしました。昨年に続き小牧チームが２連覇を達成しました。

発掘調査情報

丹波小学校の裏門前で遺跡の確認調査が始まりました。遺跡の名前は「南丹波遺跡」。丹波小学校付近に遺跡があることは指宿市誌にも記録があり、古墳時代の遺物が見つかっています。近くには、国指定史跡橫穴礼川遺跡もあるため、そことの関連も注目されるところです。調査は９月末までの予定です。お気軽に見学におこしください。



※都合により調査を休んでいる日もあります。

地名の謎に迫る

故小川玄三郎先生の著書『南九州の地名』の中から指宿にある地名を紹介しています。

第2回 『大牟礼（オオムレ）』

地名についている「ムレ」には山と村の2つの意味があります。指宿でこの地名がついているところを探してみましょう。

山を意味するのは、「大牟礼迫」という地名です。魚見岳の頂上は嶽というところですが、この嶽は山、すなわち大牟礼を意味し、その両側にある急に低くなった狭いところが「大牟礼迫」と呼ばれています。

村を意味するのは、丹波校区の「大牟礼」という商店街のところです。ムレは人の群れ（ムレ）住む所という意味で、ムレが転じてムラになったといわれています。つまり大牟礼は大村の意味なのです。

この「おおむれ」については平安時代の文書にも記されています。現在の丹波小学校の南にある小牟礼も小村という意味からできたといわれています。

COCCOまんが道場

ルーツ

今から一千万年前ほどのアフリカでは、気候がゆっくりと変化して密林が草原へと変化していきました。この新しい環境の中で生きていくため初期の類人猿は地上で過す時間が長くなり、やがて集団で植物を探し歩き、死んだ動物を食べたりしながら暮らしてきました。やがてそれが協力や意志の伝達を促し、知能を発達させていったのです。最初の人類は、アウストラロピテクス（南の猿の意味）と呼ばれ、約四百万年前に誕生したといわれています。

人権感覚を高めよう

わたしと小鳥とすずと

わたしが両手をひろげても、
お空はちっともとべないが、
とべる小鳥はわたしのように
地べたをはやくは走れない。

わたしがからだをゆすっても
きれいな音はでないけど
あの鳴るすずはわたしのように
たくさんなうたは知らないよ

すずと、小鳥と、それからわたし
みんながちがって、みんないい。

「金子みすず童話集
『わたしと小鳥とすずと』
（ＪＵＬＡ出版局）より

私たちが住むこの社会は、いろいろな人がいます。お互いの違いを認め合う力を合わせながらみんなが一緒に暮らしていけるそんな社会を築けるよう努力したいものです。

COCCOだより

指宿市考古博物館「時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ」お報せ版

10月号

お問い合わせ
23-5100

来月開催 文化祭・生涯学習推進大会

文化の秋到来です。平成９年度の指宿市文化祭・生涯学習推進大会が開催されます。期日、会場等は次のとおりです。皆様のお越しをお待ちしております。

文化祭

展示部門
平成９年11月８日（土）から９日（日）　市総合体育館

芸能部門
11月９日（日）
10時から16時　市民会館

生涯学習推進大会

大会テーマ
「まなび」で広がる
「南のふるさと」

日時　平成９年11月８日（土）13時30分～

内容　市民講座・寿大学等の受講生の皆さんの作品展示をはじめ、バーバラ植村先生の講演会が開催されます。外国人から見た鹿児島など楽しいエピソードいっぱいの講演です。

コーラスグループの舞台発表の様子

自分の手で成人式を!

成人式実行委員を募集

市教育委員会では、「平成10年指宿市成人式」の実行委員を募集いたします。

○**対象**　昭和52年４月２日～53年４月１日までに生まれた人。（各校区から男女１名ずつ、希望者多数の場合は抽選）

○**申込方法**　往復はがきに住所、氏名、電話番号を記入し、「成人式実行委員希望」と明記の上、お申し込みください。

○**締切日**　10月15日（水）

○**申込先及び問い合わせ先**
〒891-04　指宿市十二町2290
時遊館 cocco はしむれ内
社会教育課　電話　23-5200

南九州の仮面 第３回歴史セミナー

古来より、仮面は人と神を結び付ける儀式の道具として使われてきました。南九州に残る仮面には、どんな神々がやどっているのでしょうか。その謎に迫ります。

日時　平成９年10月18日（土）
午後３時～４時30分
会場　ＣＯＣＣＯはしむれ講堂
講師　向山　勝貴先生
鹿児島経済大学

山川写楽クラブ 写真展

山川写楽クラブの第１回の写真展が開催されます。風景・人物をはじめ、バラエティーに富んだ美しい写真の数々をお楽しみください。入場は無料です。

期間　平成９年11月11日（火）～11月16日（日）まで
会場　ＣＯＣＣＯはしむれ講堂

COCCOまんが道場

失敗

狩は、古代の生活には欠かせない大切な仕事の一つでした。縄文時代になるとそれまで使われていなかった弓矢が発明され、より遠くから獲物をしとめることができるようになりました。獲物に気付かれず、直接槍を刺すよりも安全な方法です。腕前をあげるために練習を積んだことでしょうが、時には思わぬ失敗もあったようです。

地名の謎に迫る

故小川宮三郎先生の著書『南九州の地名』の中から指宿にある地名を紹介しています。

じょうろく
丈六

江戸時代の『三国名勝図絵』という本の中に、「丈六山浄真院西選寺、十二町村、摺ヶ浜の後岡にあり、真言宗なり」という記述があります。このことから、丈六の呼び名は、丈六山浄真院西選寺という寺の名前からつけられたことがわかります。では、この寺の名前はどこからつけられたのでしょうか。かつてこの寺の境内には、阿弥陀堂があって、高さ一丈（約3m）の大きな阿弥陀仏像がありました。丈六は、もともと一丈六尺の長さを表わすことばでした。当時、大きな仏像は、実際には、一丈六尺なくても、「丈六の仏像」と呼ばれていました。寺の名前はここからきているのです。

この寺は、明治時代の廃仏毀釈で壊されてしまいました。

指宿市子ども会ジュニアリーダークラブ『とろぴかーれいぶすき』会員募集

『とろぴかーれいぶすき』は、指宿市内の高校生で組織される子ども会ジュニアリーダークラブです。子ども会の運営やレクリエーション指導などのボランティア活動を通して仲間づくりの輪を広げ、地域のジュニアリーダーの育成を目指します。指宿市内在住の中・高生の皆さんの参加を募集しています。詳しくは、COCCOはしむれ内社会教育課（電話23-5200）までお問い合わせ下さい。

（熱帯地方の）＋イタリア語の「re」（する）の造語で「情熱的に熱く燃えて活動する」という意味を込めてつけられた名前です。

マジック今は昔！第4回奇術の祭典

地元のマジッククラブ会員他、友情クラブの出演もあります．入場無料です．

とき	平成9年10月26日（日） 12時開場 13時開演
ところ	COCCOはしむれ講堂
主催	指宿マジッククラブ
後援	九州奇術連合会、SAMジャパン

ＣＯＣＣＯだより

指宿市考古博物館「時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ」お報せ版

11月号

お問い合わせ
23-5100

11月22日 戦国の山城 その謎に迫る

第四回の歴史セミナーは、松尾城や清見城が登場する中世が舞台です。度重なる戦いが繰り広げられていた群雄割拠の時代。山城には、戦いの歴史が深く刻まれています。五百年の時を経て、今、山城の謎が解かれます。

日時　11月22日（土）　午後３時～

演題「今、解き明かされる　南九州の山城の謎」

講師　三木　靖先生（鹿児島短期大学）

中世山城の縄張り想像図

新成人のみなさんへ

平成10年新成人調査及び成人式での意見発表者の募集について

市教育委員会では、往復ハガキによる平成９年の新成人対象者の調査を行なっています。ハガキの届いていない方でも出席できますので下記までご連絡ください。また、成人式での新成人による意見発表の原稿を下記のとおり募集します。

○成人式　平成10年１月５日

○新成人該当者　昭和52年４月２日から昭和53年４月１日まで

○意見発表テーマ
①新成人になって思うこと
②私の選んだ道
③21世紀の指宿を夢見て
字数は、400字詰め原稿用紙４枚以内

○原稿締切　11月21日（金）

○問い合わせ、原稿送り先
指宿市十二町2290
時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ
社会教育課成人式実行委員会
電話 23-5200

文化祭・生涯学習推進大会

平成９年度の指宿市文化祭・生涯学習推進大会が開催されます。皆様のお越しをお待ちしております。

生涯学習推進大会

大会テーマ
『まなび』で広がる　南のふるさと」

日時　平成９年11月８日（土）13時30分～

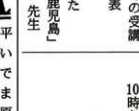
市民講座・寿大学等の受講生の皆さんの作品発表

講演
演題「外国人から見た鹿児島」
講師　バーバラ槇村　先生

文化祭

展示部門
平成９年11月８日（土）から９日（日）　市総合体育館

芸能部門
11月９日（日）
10時から16時　市民会館

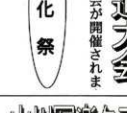


山川写楽クラブ 写真展

山川写楽クラブの第１回の写真展が開催されます。風景・人物をはじめ、バラエティーに富んだ美しい写真の数々をお楽しみください。入場は無料です。

期間　平成９年11月11日（火）～11月16日（日）まで

会場　ＣＯＣＣＯはしむれ　特別展示室



にぎわいざ 第回 てづくり市場 開催

手作りの人形やかわいい小物の展示販売、リサイクル品等のフリーマーケットが出店される『てづくり市場』が開催されます。入場は無料です。皆さんのおいでをお待ちしております。

日時 11月23日（日）
午前10時～午後5時まで

会場 COCCOはしむれ講堂

主催 すてっぷあっぷ

お問い合わせ
すてっぷあっぷ事務局
22－6323、または
22－2340（川畑）まで

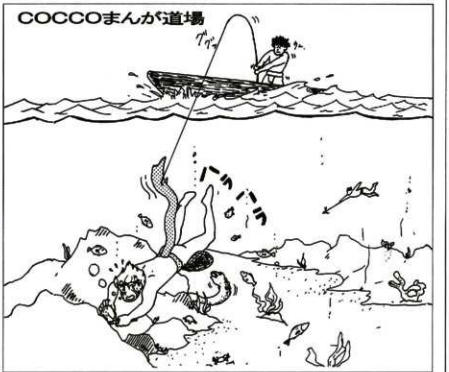
地名の謎に迫る

第3回『知林ヶ島』

知林ヶ島には、昔からたくさんの松の木が茂っていました。松の木の松かさのことを「ちちり」と呼んでいましたが、「ちちり」がたくさんあることからかつては、「ちちりの島」と呼ばれていたようです。

それがなまって、いつしか「ちりんが島」になったと言われています。

COCCOまんが道場

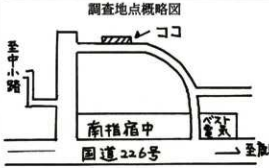


古代中国の歴史書『魏志倭人伝』（ぎしわじんでん）には、弥生時代の日本人（倭人）の生活が細かく記されています。それによると「倭人はよく水にもぐって魚やアワビを捕る」とあり、また、「倭人は、男子はみな顔や体に入れ墨をしている。その風習は中国江南地方と同じで入れ墨によって、海蛇や水鳥に襲われることを防ぐのだ」と説明されています。倭人が入れ墨をしていたことは弥生土器に描かれた顔や古墳時代の埴輪から知ることができます。さて、右の男性の入れ墨の効果はいかほどだったのでしょうか・・・

発掘調査情報

11月4日（火）より、農道整備事業に伴い、南迫田遺跡の発掘調査がはじまります。遺跡は縄文時代から近世までの複合遺跡で平成6年度にも一部調査が行なわれました。調査地点は南指宿中学校の西側山裾付近です。お気軽に見学においでください。

調査地点概略図



日韓交流美術展開催

ＣＯＣＣＯだより
指宿市考古博物館「時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ」お報せ版
12月号
お問い合わせ
23－5100

絵画、彫刻、工芸、デザイン、ハングル語の書など百二十点を展示

第７回日韓－鹿児島・光州－交流美術展が、ＣＯＣＣＯはしむれで開催されます。この美術展は、奇数回を鹿児島市立美術館で、偶数回を光州市立美術館で開催してきたもので、鹿児島展終了後、巡回展として行なわれるものです。日本近代洋画発祥の地鹿児島と芸郷といわれる韓国光州の芸術をご堪能ください。

会期　平成９年12月13日（土）～同月26日（金）

主催　日韓美術交流展指宿実行委員会
　　指宿市文化協会
共催　鹿児島美術振興会
後援　南日本新聞社　指宿市教育委員会

成人式のお知らせ

市では、新成人に成人としての責任と自覚を促し住み良い指宿づくりに参加する意欲を高めるため、成人式を実施いたします。新成人を励ますために、市民の皆さんや家族の方々の参加をお願いします。

とき：１月５日（月）　**ところ**：指宿市民会館

日程：受　付　13時～
　　ｱﾄﾗｸｼｮﾝ　13時40分
　　式　典　14時30分

該当者　昭和52年４月２日～昭和53年４月１日までに生まれた方。教育委員会から連絡がなかったり、申込をされていない方でも、当日会場で受け付けをいたします。

申し込み・お問い合わせ
市社会教育課（時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ内）
TEL　23－５２００

来館者10万人達成

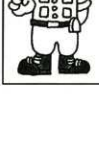
開館から１年７ヶ月

11月12日（水）、ＣＯＣＣＯはしむれに10万人目のお客様をお迎えしました。10万人目は、千葉県船橋市からおいでの東葉高校の皆さんで、修学旅行の初日の訪問地が指宿でした。これからも大勢のお客様にお越し頂けるよう館運営に努めてまいります。

地名の謎に迫る

第４回　玉利

「玉利」という地名は、「集まり」が「たまり」という読み方に変わってできたものと言われています。もともと「たまり」とは、昔、狩に行く時に集まって相談をし、狩から帰ってきて獲物を解体・分配する場所をさしていました。獲物の多くはイノシシで、解体には水が必要なために川のほとりがその場所に選ばれました。このことから人が集まる場所、人がたまる場所が「たまり」といわれるようになったのです。「狩集」という地名もそこからきていると考えられます。



特寄　幸良

鹿児島初　吉野ヶ里遺跡の宝物がやってくる!

「弥生の王国」

吉野ヶ里遺跡の宝物展

来年1月1日～2月1日まで、COCCOはしむれ特別展示室で、新春特別企画展「弥生の王国-吉野ヶ里遺跡の宝物展-」を開催。門外不出といわれた吉野ヶ里遺跡の国指定重要文化財が、鹿児島ではじめてそのベールをぬぎます。この機会お見逃しなく!

会期：平成10年1月1日～2月1日
主な展示品
青銅製把頭飾銅剣（重要文化財）
有柄銅剣（重要文化財）
銅剣4本（重要文化財）
ガラス製管玉
（重要文化財）

見学には、常設展示入場料が必要になります。

吉野ヶ里遺跡のある佐賀県をはじめ、北部九州一帯では、弥生時代の前期の末くらい（約二千百年前）から、埋葬用につくられた大型のかめをニ個あわせて、それに遺体をおさめるという独特の埋葬方法（かめ棺葬）がはじまり、弥生時代の中期には、大流行します。吉野ヶ里遺跡でも、調査が行なわれたところだけでも二千基以上見つかっています。大きなかめを作るには、たいへんな技術が必要です。おそらくは、かめ棺づくりの専門工人がいて、製作していたと考えられています。ちなみに南九州では、この埋葬方法は流行せず、土葬が一般的でした。

鹿児島初公開

邪馬台国は見えたか？

COCCOだより
指宿市考古博物館「時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ」お報せ版
1月号
お問い合わせ
23-5100

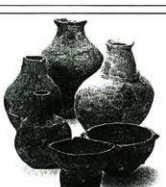
時遊館COCCOはしむれ
第４回企画展

弥生の王国
吉野ヶ里遺跡の宝物展

会　期：1月1日（木）～2月1日（日）
　　但し月曜日と第４水曜日は休館
会　場：時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ特別展示室
入場料：常設展示入場料金でご覧になれます。

主な展示品
青銅製把頭飾銅剣
有柄銅剣
銅剣４本
ガラス製管玉
（重要文化財）

「弥生の王国－吉野ヶ里遺跡の宝物展－」がいよいよ開催されます。これまで国内で４本しか発見されていない青銅製の鍔のついた剣（遺跡から出土したものでは吉野ヶ里遺跡のものだけ）をはじめ、ガラス製の管玉など吉野ヶ里遺跡の出土品公開は、鹿児島で初めてです。期間中、１階の歴史劇場におきまして、『邪馬台国が見えてきた！吉野ヶ里遺跡』の特別上映をいたします。展示とあわせてご覧ください。ご家族・お友達お誘い合わせの上、お正月は時遊館ＣＯＣＣＯはしむれにおいで下さい。**期間限定の新春特別企画展。この機会をお見逃しなく！**



日本をあっと驚かせた発見から半年。国内最古・最大級の縄文集落が写真でよみがえります。縄文のロマンを感じてみませんか。
会期　1月1日～2月1日まで
会場　1階ロビー

緊急企画

同時開催
上野原遺跡写真展

七色の光美しく

ステンドグラスCOCCOにお目見え

COCCOはしむれの1階ホールを取り巻くガラスの窓一面にステンドグラスが飾り付けられました。これは、南指宿中学校の皆さんが文化祭用に作成したものですが、今回クリスマスシーズンにちなんでお借りしました。ステンドグラスからこぼれる七色の光が、2月1日までCOCCOはしむれを彩ります。

地名の謎に迫る

第5回　丹波

かつて丹波小学校の一帯は、丹波山と呼ばれるシラス台地でした。この台地の下を「谷場」（たにば）と人々は呼んでいました。これがなまって「たんば」と呼ばれるようになったとの説があります。昔は、みんなの幸せを願い、縁起のいい字や良い意味をもった漢字をあてることが多かったようです。ちなみに「丹」の字には『まごころ』という意味があります。

吉野ヶ里遺跡の人々は、人が亡くなると甕棺（かめかん）と呼ばれる大きな土器に遺体を入れて埋葬しました。首長クラスになると墳丘（ふんきゅう）と呼ばれるこんもりとした塚ー墳丘墓ー に甕棺が埋葬され、副葬品も剣や鏡など豪華なものになります。吉野ヶ里遺跡の墳丘墓は南北約40m 東西約26m、高さ約4.5mの大きさで、14基の甕棺が埋葬されていました。これらは、首長とその一族の墓と考えられています。

■古代こぼれ話■

ネアンデルタール人の秘密

ネアンデルタール人は、今から約10万年～3万年前の人々です。ヨーロッパ各地や中東で人骨が発見されています。イランのシャニダール洞窟からはネアンデルタール人の男性のお墓が見つかり、中の土に入っていた花粉の化石から数種類の花を捧げていたことがわかりました。男性は推定で42才、現代でいえば、80才くらいになることが骨のようすからわかりました。さらに驚いたことにこの男性は、生前病気か怪我で右腕を失っていました。健康な人ですら生き抜くことが大変だった狩猟採集の氷河時代。狩りも十分にはできなかったと思われるこの男性は、まわりの仲間に支えられ生をまっとうし、そして手厚く葬られたのです。

COCCOだより
指宿市考古博物館「時遊館COCCOはしむれ」お知らせ版
2月号
お問い合わせ
23−5100

市民講座　寿大学生　作品展　開催

開催場所　時遊館CoCCoはしむれ

市民講座・寿大学、県民大学書道講座の受講生のみなさんの作品展を開催します。皆様のご来館をお待ちしております。

展示作品
書道・陶芸・パッチワーク・ちぎり絵・手芸・水墨画・押し花・絵画など

開催日時
平成10年2月20日～3月8日（17日間）

観覧時間は、午前9時～午後5時（毎週月曜日、第4水曜日は休館です。）

観覧料　無料

吉野ケ里遺跡の宝物展にぎわいのうちに閉幕

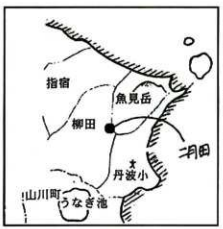
元旦より開催された吉野ケ里遺跡の宝物展が2月1日、終了しました。指宿小学校や頴娃高校の歴史クラブの皆さんをはじめ、約二千三百人の方々に来館いただきました。

職員による案内の様子

地名の謎に迫る 第6回

二月田

指宿神社の周辺には、二月田、三月田、元日田、霜月田、払田、納来田などの字名が残っています。これらの名前は、指宿神社の神田に由来するものです。**二月田は、指宿神社が二月に行うお祭りの費用をまかなうための田んぼだったと言われています。**昔はよく豊作を祈る田の神祭りが田んぼで行われていました。また、「田の神さあ」と呼ばれる田んぼの神様の石像も市内各地に残っています。田の神さあは鹿児島独特の神様です。



指宿に残る江戸時代

第1回　宮ヶ浜の防波堤

指宿市内には、古代の遺跡の他にも江戸時代の様子を今に伝える文化財がたくさん残っています。江戸時代の指宿は、南の玄関口として栄え貿易の拠点として大切な役割を果たしていました。宮ヶ浜に残る堤防、通称「三日月突堤」は、台風の通過点である指宿でも、船が安全に停泊できるようにと天保4年（一八三三年）の12月に工事が始まりました。高さ5m、長さ230mに及ぶ巨大な防波堤は、翌年7月には完成しました。台風シーズン前の完成をめざし、たくさんの人手と予算がつぎ込まれた結果でした。この堤防は今でも地元も人々に使われ、立派にその役割を果たしています。

2月・3月の休館日

2月16、23、25日
3月2、9、16、23、25、30日
は休館日です。

ひな人形展開催

COCCOだより
指宿市考古博物館「時遊館COCCOはしむれ」お知らせ版
3月号
お問い合わせ
23－5100

桃の節句にちなんで、COCCOはしむれ1階ロビーにおきまして、ひな人形展が開催されます。これは、地域興しグループ『湯豊宿"人・街・未来"21』の皆さんの企画によるもので、指宿市内の有志の皆様からご提供を受けた雛人形を一堂に展示するものです。

なお、『湯豊宿"人・街・未来"21』では、集まった雛人形の整理や飾り付けなどを手伝ってもらえる小・中学生の皆さんのボランティアも募集しています。詳しくは左記のところまで、お問い合わせください。

展示期間
3月16日（月）～4月5日（日）

お問い合わせ先
池元正美　電話　25の5936
市役所企画　電話　22の2111

アトリエBLOOM 生徒作品展

フラワーアレンジメントの世界

3月13日（金）～3月15日（日）

春の花を中心とした個性豊かなフラワーアートの世界をのぞいてみませんか。第7回アトリエBLOOM生徒作品展が右記の日程で開催されます。**今回の合同作品のテーマは今年の干支にちなんで「虎」です。**入場は無料です。皆様のお出でをお待ちしております。

地名の謎に迫る

最終回

橋牟礼

「牟礼」には、「大牟礼」と同じように村という意味があります。橋牟礼の橋は、村のはしっこの「はし」という説もありますが、おそらくはその昔、「橋」のある村だったためにつけられた名前だと考えられます。橋牟礼川遺跡の名前はここにある橋牟礼川の両側に広がっていることからつけられました。

野外博物館（国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡）

指宿に残る江戸時代

第２回　二反田川の石垣堤防

殿様湯跡前の二反田川の川岸には、天保14年（一八四三）に造られた石積みの堤防が築かれています。当時は二反田川の河口から、約3キロにわたって7段の石積みが続いていました。試算でも約6万個の石が必要になる大工事です。島津の殿様は、やかた舟で殿様湯に湯治に来ていて、水量の少ない二反田川に舟が入ると地元の人々が両岸から舟をひっぱって殿様湯まで運んだとの伝承が残っています。

市民講座・寿大学生　作品展

市民講座・寿大学、県民大学書道講座の受講生の皆さんの作品展を開催しております。絵画や工芸、俳句や水墨画など多彩な作品、約二〇〇点を一堂に展示しています。期間は3月8日（日）までです。皆様のお越しをお待ちしております。

3月の休館日

3月2、9、16、23、25、30日は休館日です。

(13) 図録・ミュージアムグッズの頒布

博物館の２階のカフェすてっぷあっぷでは、ミュージアムグッズの販売が行なわれている。これは、博物館への来館の記念とする物品の販売を行い、かつ、博物館の持つ「固い」イメージを払拭し、博物館の付加価値を高めることにある。

時遊館ＣＯＣＣＯはしむれでオリジナルに開発・販売している物品

・オリジナルテレホンカード
・オリジナルレターセット
・１筆便箋
・オリジナルキーホルダー（２種）

これらのグッズについては、すてっぷあっぷに販売委託をしている。その他、カフェすてっぷあっぷでは、地域の特色のある薩摩焼、博物館関係図書、地域関係図書などの販売も行っている。

(14) カフェの委託

＜カフェ　すてっぷあっぷ＞

考古博物館の２階には、博物館のオリジナルグッズの販売と喫茶を兼ねた「カフェ・すてっぷあっぷ」がある「すてっぷあっぷ」は、自己を見つめ直すことで自己認識をし、これからの個人の生活の中で自己啓発を行いながら、生活する社会を市民代表として少しでも理想的なものに変えていくことを主旨として平成６年に結成された地域興しグループである。博物館の２階のカフェをグループ活動の窓口として、以下の活動を具体的に実践している。

・行政で出来ない部分を民間として補強。
・グループ会員の自己反省に基づく自己改良と向上。
・カフェを「出会いの場」・「憩いの場」として位置づけ、指宿市民のひとりとして市内、市外、県外を問わず来館した方々と接する。

この具体的な活動をカフェで行う中で、カフェは自然と指宿市内の年輩の方々や女性の憩いの場所として、またサロンとして多くの方々から利用されており、そこで展開する会話はグループ「すてっぷあっぷ」が他地域のグループとの連帯やネットワークの強化をはかり、鹿児島県下における女性活動の発展に寄与していると同時に、現代社会問題の一つに挙げられる女性問題の中の「女性社会活動参加」に大きく貢献しているようである。

「カフェすてっぷあっぷ」は、上記のような、「出会いの場」・「憩いの場」としてだけでなく、そのメニューにも特徴がある。来館者から特に好評を博しているものに、「古代懐石」がある。これは、考古博物館にある喫茶であることから、グループ「すてっぷあっぷ」が開発したメニューである。

内容は、赤米・黒米のおにぎり、そばクレープ、茶ぶし（鹿児島に伝わるインスタント味噌汁）、ぶたみそ、バナナいも、黒蜜、トマトソースからなり、１食５００円と安価である。開館１年を経て、時遊館ＣＯＣＣＯはしむれの名物の一つとなり、旅行代理店が「古代懐石」をツアーの目玉として取り扱う例もある。

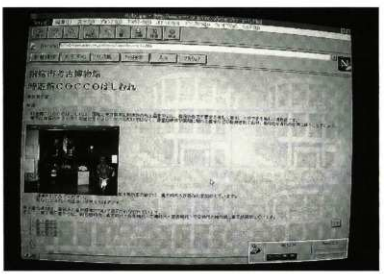
また、平成９年１０月１１日には、農林水産省主催の第７回全国食文化交流プラザの「新食生活コンクール・新たな食生活への実践活動部門」で表彰され、３月２９日には、県調理師連合会と県観光連盟主催の郷土料理コンクールで最優秀賞を受賞している。こうした実績は、「すてっぷあっぷ」の活動に対する評価の高さを示すものである。

古代懐石

(15) 博物館広報・ホームページ管理

博物館の内容について、情報発信する手段として、インターネットによるホームページを掲載して広く開放している。ホームページは、３４ページで、その他関連のサイトへのリンクも行っている。

また、外国からのアクセスを考慮し、英文も表記している。内容については、博物館の概要と常設展示の内容について解説している。



時遊館CoCCoはしむれ
ホームページ

時遊館ＣＯＣＣＯはしむれホームページの構造

(16) 博物館実習生受け入れ

指宿市考古博物館では、平成８年度以来博物館実習生の受け入れを行なっている。これは、博物館法による学芸員単位取得の必修科目となっており、県内外の大学からの受け入れ要望に応えたものである。
平成９年度は、３名の実習生を受け入れた。実習日程は以下の内容となっている。

・平成９年８月１９日～８月２８日：鹿児島女子大学１名
・平成９年９月２６日～１０月２日：鹿児島大学３名

実習内容は下表のとおりである。

期日	8:50～10:10	10:40～12:00	13:00～14:20	14:50～16:20
8/19	市教育委員会訪問 オリエンテーション	講義 「博物館の事業運営」	博物館内実習 燻蒸作業実習 図書整理実習	
9/20	市内社会教育関係施設視察 及び実態把握		講義 「指宿市の 社会教育行政」	博物館内実習 接客・受付実習
9/21	博物館内実習 ＣＯＣＣＯだより作成実習		博物館内実習 ワークシート作成実習	
9/22	博物館外実習 発掘調査実習（中尾迫遺跡）			
9/23			博物館外実習 「古代にチャレンジ」体験学習事業	
9/24	博物館外実習 「古代にチャレンジ」体験学習事業			
9/25	代　　休			
9/26	講義 「指宿市の 文化行政の課題」	博物館内実習 考古遺物整理実習	博物館内実習 展示案内実習	
9/27	博物館内実習 施設管理実習	博物館内実習 博物館運営実習	博物館内実習 特別展企画書作成実習	
9/28	博物館内実習 博物館事業・運営計画立案実習			教育委員会訪問 実習のまとめ

期日	8:50～10:10	10:40～12:00	13:00～14:20	14:50～16:20
9/26	市教育委員会訪問 オリエンテーション	講義 「博物館の事業運営」	博物館内実習 燻蒸作業実習 図書整理実習	
9/27	博物館内実習 図書整理実習 報告書作成実習		博物館内実習 保存処理実習	博物館内実習 接客・受付実習
9/28	休　　日			
9/29	博物館内実習 ＣＯＣＣＯだより作成実習		博物館内実習 展示案内実習	
9/30	博物館内実習 ワークシート作成実習		博物館内実習 ワークシート作成実習	
10/1	博物館内実習 特別展・企画展立案実習			
10/2	博物館内実習 特別展・企画展立案実習			教育委員会訪問 実習のまとめ

(17) いぶすきシルバー美術展

指宿市においては、生涯学習における高齢者の創作活動の一般公開の場として、また、芸術文化の振興に寄与することを目的として平成２年度から開催しており、今年度で第８回目を迎える。

ａ．日時　平成８年８月３日（日）～１７日（日）
ｂ．主催　指宿市・指宿市教育委員会・指宿市文化協会
ｃ．出展作品数　２８３点（市内３０点・市外２５３点）
ｄ．出展者数　２０５名（市内１８名・市外１６７名）
ｅ．最高齢者　９５歳　安村猛男氏（鹿児島）
ｆ．平均年齢　７０．１歳

ｇ．年齢別構成　６０歳代　１０５名
　　７０歳代　８７名
　　８０歳代　１１名
　　９０歳代　２名
ｈ．出展作品種別　洋　画　１６２点
　　水彩画　１９点
　　日本画　１５点
　　水墨画　５３点
　　ちぎり絵　２６点
　　版　画　４点
　　七　宝　１点
　　切り絵　２点
　　パステル　１点

ｉ．入場者数　４２９２名（＋４７７名，対前年）

いぶすきシルバー美術展開催風景

(18) 指宿市文化祭

指宿市における文化意識の高揚を図るため日常の文化活動の発表の場として指宿市文化祭を実施し、相互交流をはかった。

a．日時　平成9年11月8日（土）～11月9日（日）
b．場所　指宿市総合体育館・指宿市民会館
c．主催　指宿市・指宿市教育委員会・指宿市文化協会・指宿市文化協会実行委員会
d．出展作品数　1，318点　（市内のみ）
e．出展者数　840名　（市内のみ）
f．出演団体　49団体　（市内のみ）
g．出演者数　422名　（市内のみ）
h．入場者数　作品展示会場　1，945名
　　舞台発表会場　1，082名　（計3，027名）

◆ 後援・共催・協賛事業の部

(19) いでゆ会発表展示会

指宿市文化協会所属の「いでゆ会」の作品発表展示会を行なった。

a．日時　平成9年9月13日（土）～同年同月21日（日）
b．主催　いでゆ会　後援　指宿市教育委員会・指宿市文化協会
c．出展作品数　60点　（市内48点・市外12点）
d．出展者数　18名　（市内13名・市外　5名）
e．入場者数　350名

(20) あざみの会発表展示会

指宿市文化協会所属の「あざみの会」の作品発表展示会を行なった。

a．日時　平成9年11月21日（金）～同年12月2日（火）
b．主催　あざみの会　後援　指宿市教育委員会・指宿市文化協会
c．出展作品数　50点　（市内42点・市外　8点）
d．出展者数　8名　（市内　7名・市外　1名）
e．入場者数　420名

(21) 日韓交流美術展

鹿児島－光州交流美術展示会の一環として開催された。

a．日時　平成9年12月13日（土）～同年12月26日（金）
b．主催　日韓美術交流展指宿実行委員会・指宿市文化協会　後援　指宿市教育委員会・南日本新聞社
c．出展作品数　135点　（韓国75点・日本60点）
d．出展者数　135名　（韓国75名・日本60名）
e．入場者数　558名

(22) 市民講座・寿大学作品展

指宿市教育委員会主催の市民講座・寿大学及び、県民大学書道講座の受講生の作品展示会を開催した。

a．日時　平成10年2月20日（金）～同年3月8日（日）
b．出展作品数　60点
c．出展者数　50名
d．入場者数　797名

◆ 発掘調査の部

(23) 国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡等範囲確認調査

国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡は、大正１３年に指定を受け、平成８年に追加指定を受けた。本確認調査は、国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡の範囲を確認すると同時に、市内の重要遺跡について把握するために、平成４年度から継続的に実施されている発掘調査である。

a．遺跡名　　国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡　他
b．調査期間　　平成９年７月～平成９年１１月
c．調査面積　　１７０㎡
d．調査担当者　渡部・鎌田

(24) ふるさと農道整備事業に伴う発掘調査

ふるさと農道整備事業に伴う発掘調査は、農道新設工事に伴う発掘調査で、中近世の陶磁器などが出土した他、鍛冶遺構が近隣に存在していたことを想定させる遺物（スラグ）が出土した。

a．遺跡名　　南迫田遺跡
b．調査期間　　平成９年１１月１０日～平成９年１２月２６日
c．調査面積　　２２０㎡
d．調査担当者　鎌田・下山

(25) 下水道敷設に伴う発掘調査（丈六地区）

公共下水道敷設工事に伴う発掘調査で、古墳時代の成川式土器などが出土した。

a．遺跡名　　丈六遺跡
b．調査期間　　平成９年８月
c．調査面積　　５０㎡
d．調査担当者　中摩

(26) 広域農道整備に伴う発掘調査

鹿児島県耕地事務所が主体とする広域営農団地農道整備事業（南薩東部地区）に伴う埋蔵文化財確認調査を指宿市教育委員会が委託を受けて実施した。

平成８年度に行った確認調査の結果、中尾迫遺跡と水迫遺跡において本調査を行うことになり、平成９年度は中尾迫遺跡の全面調査を実施した。

発掘調査の結果、弥生時代中期と後期の遺物や柱穴等が出土検出した。特に、弥生時代に帰属する土器焼成坑や粘土採掘穴が検出でき、空間的に立地状況や遺構の検出状況から、「弥生時代の土器製作工房」として位置付けられる。

a．遺跡名　　中尾迫遺跡
b．調査期間　　平成９年６月１６日～平成９年１０月１５日
c．調査面積　　１５００㎡
d．調査担当者　鎌田・下山・中摩・渡部

(27) 敷領遺跡発掘調査

指宿市十町敷領地内において、県営・市営住宅建設事業が進行中であり、平成８年度においては鉄筋コンクリート３階建て集合住宅１棟分の発掘調査を行った。平成９年度においては、当該建物への供給用として、温泉タンクの建設が計画されており、建設地内の遺跡の記録保存を目的として発掘調査を行った。

a．遺跡名　敷領遺跡
b．調査期間　平成９年７月１日～８月３１日
c．調査面積　５０㎡
d．調査担当者　渡部

(28)　丈六・摺ヶ浜線道路拡幅工事に伴う確認調査

市道丈六・摺ヶ浜線の拡幅工事事業に伴う確認調査を行った。
a．遺跡名　南丹波遺跡
b．調査期間　平成９年４月１４日～４月２４日
c．調査面積　１０㎡
d．調査担当者　渡部

(29)　耕地事業に伴う確認調査

耕地事業（市営農道網整備）に伴う確認調査である。調査範囲は、宮の前・久保遺跡地内の既存農道が対象となった。当該地には、７世紀第４四半期の開聞岳火山灰（青コラ）が良好に残存していることが判明した。また、近隣の畑からは縄文土器の表採も行なわれた。
a．遺跡名　宮之前・久保・渡瀬遺跡
b．調査期間　平成９年６月～７月
c．調査面積　６０㎡
d．調査担当者　下山

(30)　県営畑地帯農道網整備事業

県営畑地帯農道整備事業に伴う確認調査である。調査範囲は、吹越遺跡地内の既存農道が対象となった。遺物として、古墳時代・古代・中世の土器小片等があった。
a．遺跡名　上吹越遺跡・下吹越遺跡
b．調査期間　平成９年７月
c．調査面積　２６㎡
d．調査担当者　下山

＜平成９年度の成果＞

平成９年度においては、９遺跡が調査対象となり、学術調査１件、緊急調査９件（内本調査３件、確認調査６件）が行なわれた。

中尾迫遺跡においては、弥生時代包含層中から土器焼成作業過程を示す一連の遺構が検出された。内容は、小型の土器焼成坑・粘土採掘穴・混和材加工具である。付近は、標高１００ｍの舌状台地に位置し、土器焼成用の燃焼材である薪は十分に入手できるとともに、材料の粘土、成形時に必要な水が入手可能な条件的に良好な位置であったと考えられる。こうした土器焼成作業を示す資料は、九州でも極めて珍しい事例であり、今後土器焼成技術の解明に大きな貢献を為すものと考える。

一方、南迫田遺跡においては、中世末～近世初頭の鍛冶遺構に伴う遺物が多量に出土するとともに、近世陶磁器の良好な資料が一括して出土した。鍛冶遺構自体は調査区外に所在するものと考えられるが、多数のスラグ（椀形鉄滓を含む）・赤変した小礫が、崩落した石垣状の遺構と共に多数出土した。低い石垣を貼った土壇上に鍛冶場が築かれており、この廃絶等に伴い廃棄されたものである可能性がある。

鍛冶関連遺物と共伴状態で多数出土した近世陶磁器は、肥前系陶磁器・備前系陶器が主体となり、彰州窯系染付皿等を含む輸入陶磁器も見られた。資料の時期が17世紀代が主体となっており、近世初頭に擁ける陶磁器の消費地の状況を示すと共に、薩摩焼成立直前の県下状況を示す貴重な資料となった。

迫田遺跡調査風景

迫田遺跡
土器集中廃棄所検出状況

南迫田遺跡調査風景

南迫田遺跡
近世古道検出状況

丈六遺跡調査風景

中尾迫遺跡調査風景

中尾迫遺跡
土器焼成土坑検出状況

中尾迫遺跡
土器焼成土坑移設作業状況

敷領遺跡調査風景

南丹波遺跡調査風景

宮之前遺跡

◆ 指定文化財管理の部

(31) 国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡買上事業

a．目的

平成８年度に国指定史跡に追加指定された指定地の北側部分の追加購入を行い、史跡の保存と活用を期する。

b．内容

追加指定地18,636.59㎡の内、1,407.93㎡を購入する。文化庁と鹿児島県の補助事業。

(32) 国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡管理事業

a．目的

国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡の活用を促進するため、場内の清掃・美化を行う。

b．内容

常勤の清掃作業員の雇用による、日常的な清掃・管理を行う。

◆ 刊行物の部

(33)『弥生の王国－吉野ヶ里遺跡の宝物展－』展示図録

a．目的　企画展開催の主旨、展示意図・出品資料の解説を行うことで、来館者に吉野ヶ里遺跡が」有する価値と、弥生時代という時代の理解を促す。

b．内容　弥生時代研究史、吉野ヶ里遺跡解説、魏志倭人伝解説、企画展テーマ別解説、出品物解説等

(34) 国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡等範囲確認調査報告書

a．目的　平成４年度から継続事業として実施されている国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡等範囲確認調査の平成９年度実施分の結果報告を行う。

b．内容　国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡に隣接する南丹波遺跡地点の調査報告、市内所在の迫田遺跡の調査報告等。

(35) 丈六・摺ヶ浜線道路拡幅に伴う確認調査報告書

a．目的　平成６年度から実施し、平成９年度に完了した丈六・摺ヶ浜線道路拡幅工事に伴う南丹波遺跡の発掘調査の報告書を刊行、遺跡の記録保存を行う。

b．内容　縄文時代～平安時代の遺構・遺物の報告。

(36) 敷領遺跡発掘調査報告書

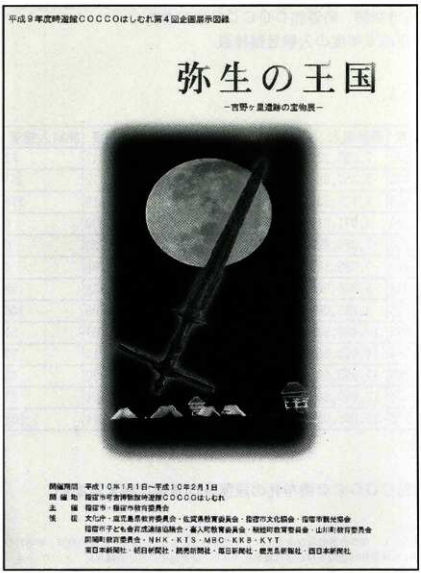
a．目的　平成８年度に実施した、県営・市営住宅建設事業に伴う発掘調査の報告書を刊行、遺跡の記録保存を行う。

b．内容　平安時代の水田遺構、奈良～平安時代の掘立柱建物群、古墳時代集落跡、弥生時代住居跡等。

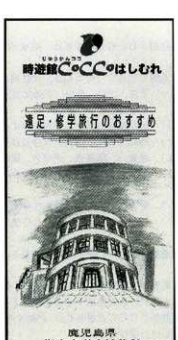
(37) 時遊館ＣＯＣＣＯはしむれパンフレット

a．目的　時遊館ＣＯＣＣＯはしむれの入館者増のため、来館者の目的に応じたパンフレットを作成する。

b．内容　一般来館者誘致用パンフレット（Ａ４三つ折り）
教育旅行誘致用パンフレット（Ａ４三つ折り）



『弥生の王国－吉野ヶ里遺跡の宝物展』展示図録



時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ
パンフレット

指宿市考古博物館　時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ
平成９年度の入館者推移表

年間の入場者数は下表のとおりである。

	入館者(人)	累計入館者	累計収入	開館日数	平均入館者	有料入館者	無料入館者
４月	3,409	3,409	1,295,220	25	136	3,347	62
５月	6,753	10,162	3,357,530	28	241	6,472	281
６月	1,998	12,160	4,125,530	24	83	1,819	179
７月	2,030	14,190	4,971,010	26	78	2,030	0
８月	5,020	19,210	7,086,380	27	186	5,020	0
９月	1,788	20,998	7,799,160	24	75	1,788	0
１０月	2,936	23,934	8,866,900	26	113	2,838	98
１１月	2,611	26,545	9,861,000	25	104	2,505	106
１２月	1,318	27,863	10,423,200	25	53	1,267	51
１月	2,291	30,154	11,422,500	26	88	2,214	77
２月	1,334	31,488	11,995,600	23	58	1,270	64
３月	2,188	33,676	12,890,000	25	88	2,101	87
集　計	33,676	33,676	12,890,000	304	111	32,671	1,005

指宿市考古博物館時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の設置及び管理に関する条例

（設置）

第１条　国指定史跡橋牟礼川遺物包含地を中心とし、指宿の歴史及び文化に対する理解を深めるとともに、市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、指宿市考古博物館時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼（以下「時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼」という。）を設置する。

（位置）

第２条　時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の位置は、指宿市十二町２２９０番地とする。

（所管）

第３条　時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼は、指宿市教育委員会の所管とする。

（事業）

第４条　時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼は、次に掲げる事業を行うものとする。

（１）　考古、民俗、歴史、美術工芸品及びその他の資料（以下「博物館資料」という。）を収集し、整理保管し、及び展示すること。

（２）　博物館資料並びに地域に存する文化財及び史跡等に関する専門的な調査研究を行うこと。

（３）　博物館資料の修復、保存及び一般公開のための技術的研究に関すること。

（４）　展覧会、講演会、研究会、講座等を主催すること。

（５）　時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼及び博物館資料に関する案内書、解説書、図録、紀要、調査報告書等の作成及び頒布に関すること。

（６）　時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の施設及び設備の使用に関すること。

（７）　その他、時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼に必要な事業に関すること。

（職員）

第５条　時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼に、館長その他必要な職員を置く。

（観覧料）

第６条　観覧者は、別表第１に定める観覧料を入館前に納入しなければならない。ただし、教育委員会が特別な理由があると認めたときは、これを後納することができる。

２　時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼が、企画する特別展示の資料等を観覧しようとする者は、教育委員会が別に定める額の観覧料を納めなければならない。

（使用の許可等）
第７条　時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の特別展示室、講堂等の施設及びこれらに付属する設備等（以下「施設等」という。）を使用しようとする者は、あらかじめ教育委員会の許可を受けなければならない。使用の　許可を受けた者（以下「使用者」という。）が、許可を受けた事項を変更しようとするときも同様とする。
２　使用者は、施設等の使用を中止し、又は終了したときは、直ちにその旨を教育委員会に届け出なければならない。
（観覧及び使用許可の条件等）
第８条　教育委員会は、次の各号の一に該当するときは、観覧及び施設等の使用を許可しないものとする。
（１）　公序良俗を乱すおそれがあると認めるとき。
（２）　時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の収蔵資料（以下「収蔵資料等」という。）又は施設等を損傷するおそれがあると認められるとき。
（３）　時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の管理運営上支障があると認めるとき。
（４）　その団体の構成員が集団的に、又は常習的に暴力的不法行為等を行うことを助長するおそれのある団体の利益になると認められるとき。
（５）　その他、教育委員会が観覧及び使用を不適当と認めるとき。
２　教育委員会は、前条の許可に時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の管理運営上必要な条件を付することができる。
（観覧及び使用許可の取消し等）
第９条　教育委員会は、次の各号の一に該当するときは、観覧及び施設等の使用を停止し、又は許可を取り消すことができる。
（１）　観覧者又は使用者が、この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
（２）　使用者が使用許可の条件に違反したとき。
（３）　使用者が偽りその他不正な手段により使用許可を受けたとき。
（４）　公益上特にその必要があるとき。
（５）　前各号に掲げる場合のほか、時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の管理運営上特に必要を認めたとき。
２　前項の規定により、教育委員会が使用許可を取り消した場合において、使用者に損害が生じても、市はその賠償の責めを負わないものとする。ただし、前項第４号又は第５号に該当したことにより、これら　の処分がなされた場合はこの限りでない。
（施設使用料）
第10条　使用者は、別表第２に定める施設使用料を前納しなければならない。ただし、教育委員会が特別な理由があると認めたときは、これを後納することができる。
２　既納の施設使用料は、返還しない。ただし、次の各号の一に該当するときは、その全部又は一部を返還するものとする。
（１）　災害その他使用者の責めに帰することができない理由により施設等の使用が不能となったとき。
（２）　公益上又は時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の管理上の必要により使用許可を取り消したとき。
（３）　使用者が使用開始前に使用許可の取消しを申し出て、教育委員会がこれを認めたとき。
（４）　前３号に掲げる場合のほか、教育委員会が特別な理由があると認めたとき。
（観覧料等の減免）
第11条　教育委員会は、公益上の理由その他特別な理由があると認めるときは、第６条に規定する観覧料又は前条に規定する施設使用料を減額し、又は免除することができる。
（損害賠償）
第12条　収蔵資料等又は施設等を故意又は重大な過失により損傷若しくは滅失した者は、その損害を賠償しなければならない。
（委任）
第13条　この条例の施行に関して必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附　則
（施行期日）
この条例は、平成８年４月１日から施行する。

指宿市考古博物館時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の設置及び管理に関する条例施行規則

（趣旨）
第１条　この規則は、指宿市考古博物館時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の設置及び管理に　関する条例（平成７年指宿市条例第33号。以下「条例」という。）第13条の規定に基づき、指宿市考古博物館時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼（以下「時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼」という。）の管理、運営等に関し必要な事項を定めるものとする。
（休館日）
第２条　時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の休館日は、次の各号に掲げるとおりとする。
（１）　月曜日（その日が、国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日に当たるときは、その翌日以後の最初の同法に規定する休日でない日）とする。ただし、１月１日から１月３日までの日が月曜日に当たる場合は、この限りでない。
（２）　館内整理日（毎月第４水曜日）
２　教育委員会は、時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の管理運営上必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、休館日を変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

（開館時間）
第３条　時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の開館時間は、午前９時から午後５時までとする。ただし、入館時間は、午後４時30分までとする。
２　条例第７条による使用の許可を受けた場合の開館時間は、前項の規定にかかわらず午後10時までとすることができる。
３　教育委員会は、時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の管理運営上必要があると認めるときは、前項の開館時間又は入館時間を臨時に変更することができる。
（観覧券の交付）
第４条　教育委員会は、条例第６条に規定する観覧料を納入した者に、別に定める観覧券を交付する。
（使用許可の申請）
第５条　条例第７条の使用の許可を受けようとする者は、教育委員会に施設等使用許可（変更）申請書（別記第１号様式）を提出しなければならない。
２　教育委員会は、前項の申請書を受理したときは、申請者の記載事項及び条例第７条に規定する事項について審査し、適当と認めたときは施設等使用許可（変更）証（別記第２号様式）を交付するものとする。
（使用許可の中止）
第６条　施設等の使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）が、使用の中止をしようとするときは、施設等使用許可中止届（別記第３号様式）を教育委員会に提出しなければならない。
（入館者が守るべき事項）
第７条　時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼に入館した者は、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。
（１）　施設、設備又は博物館資料をき損しないこと。
（２）　所定の場所以外で飲食、喫煙、火気使用等の行為をしないこと。
（３）　許可なく、博物館資料の移動、模写又は撮影をしないこと。
（４）　許可なく、物品の販売、募金、宣伝その他これらに類する行為をしないこと。
（５）　その他係員の指示に従うこと。
（施設使用料の返還）
第８条　条例第10条第２項ただし書きの規定による既納の施設使用料の返還は、次の各号に掲げる場合ごとに当該各号に定める額について行う。
（１）災害その他使用者の責めに帰することができない理由により、使用許可を取り消したとき。
未使用期間に相当する額
（２）公益上又は時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の管理上の理由により、使用許可を取り消したとき。
未使用期間に相当する額
（３）使用者が使用開始前に使用許可の取消しを申し出て、教育委員会がこれを認めたとき。
既納の施設使用料の５割相当額
（４）前３号に掲げる場合のほか、教育委員会が特別な理由があると認めたとき。
既納の施設使用料の５割以内で教育委員会が個別に定める額
２　条例第10条第２項ただし書きの規定により既納の施設使用料の返還を受けようとする者は、施設使用料返還申請書（別記第４号様式）を教育委員会に提出しなければならない。
（観覧料、施設使用料の減免）
第９条　条例第11条の規定により観覧料を減額又は免除する場合の対象となる者は、次の各号に定めるものとする。
（１）教育課程に基づく学習活動として入館する市内の小学校、中学校又は養護学校の児童及び生徒並びに引率者観覧料の全額
（２）その他教育委員会が適当と認めた者観覧料の５割以内
２　条例第11条の規定により施設使用料を減額又は免除する場合の基準は、次の各号に定めるとおりとする。
（１）市が主催する行事のため使用するとき。
施設使用料の全額
（２）その他必要があると認めたとき。
施設使用料の５割以内
３　条例第11条の規定により観覧料及び施設使用料の減額又は免除を受けようとする者は、観覧料・施設使用料減免申請書（別記第５号様式）を教育委員会に提出しなければならない。
（博物館資料の寄贈又は寄託）
第10条　時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼は、博物館資料の寄贈又は寄託を受けることができる。
２　博物館資料を寄贈しようとする者で、教育委員会が承認したものについては博物館寄贈資料申出書（別記第６号様式）を教育委員会に提出し、教育委員会は、博物館資料を寄贈した者に対して博物館寄贈資料受領証（別記第７号様式）を交付するものとする。
３　博物館資料を寄託しようとする者で、教育委員会が承認したものについては博物館寄託資料申出書（別記第８号様式）を教育委員会に提出し、教育委員会は、博物館資料を寄託した者に対して期間を定めた博物館寄託資料受託証（別記第９号様式）を交付するものとする。
４　博物館寄託資料の返還を請求しようとする者は、博物館寄託資料返還請求書（別記第10号様式）を教育委員会に提出しなければならない。
５　寄託された資料の管理は、時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼所蔵の資料の管理に準ずるものとする。
６　教育委員会は、寄託された博物館資料が天災その他の不可抗力による損害に対し、その賠償の責を負わないものとする。

（経費の負担）

第11条　寄贈又は寄託に要する経費は、寄贈者又は寄託者の負担とする。ただし、教育委員会が必要と認めた場合は、この限りでない。

（博物館資料の館外貸出し）

第12条　時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼が収集し、保管し、又は展示する資料（以下「博物館資料」という。）の館外貸出しは行わないただし、学術上の調査研究又は教育の普及の目的のために使用されるものであり、かつ、博物館資料の取扱い上の安全性が確認されるものであるといえる場合は、館外貸出しを行うことがある。

2　前条ただし書の規定による博物館資料の館外貸出しを受けようとする者は、教育委員会に博物館資料貸出し許可申請書（別記第11号様式）を提出し、その許可を受けなければならない。この場合において、館外貸出しの申請による博物館資料が寄託された資料であるときは、博物館資料貸出許可申請書に、当該資　料寄託者の承諾書を添付しなければならない。

3　教育委員会は、前項の規定により博物館資料の館外貸出しの許可をしたときは、当該許可の申請をした者に、博物館資料貸出許可書（別記第12号様式）を交付する。

（貸出期間）

第13条　博物館資料の館外貸出期間は、30日以内とする。ただし、教育委員会が特に必要と認めたときは、貸出期間を延長することができる。

（博物館資料の特別利用）

第14条　学術上の調査研究のため、博物館資料を特別に利用しようとする者は、博物館資料特別利用申請書（別記第13号様式）を教育委員会に提出し、その許可を受けなければならない。この場合において、当該申請にかかる博物館資料が寄託された資料であるときは、第12条第2項後段の規定を準用する。

2　教育委員会は、前項の規定をしたときは、博物館資料特別利用許可書（別記第14号様式）を交付する。

（施設、設備等のき損）

第15条　使用者は、時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の施設若しくは設備又は博物館資料を損傷し、又は滅失したときは、直ちにその旨を教育委員会に届け出て、その指示に従わなければならない。

（職員の立入り）

第16条　教育委員会は、時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の管理上必要があると認めるときは、使用許可を受けた者が現に使用している施設に職員を立ち入らせ、必要な指示をさせることがある。

（雑則）

第17条　この規則に定めるもののほか、時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の管理及び運営に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附　則

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

※　指宿市考古博物館時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の設置及び管理に関する条例および指宿市考古博物館時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の設置及び管理に関する条例施行規則に伴う諸様式については紙数の関係で割愛いたします。

紀　要　編

時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ所蔵民具資料目録

1　本目録は時遊館ＣＯＣＣＯはしむれに収蔵する民俗資料の一部を集成したものである。

資料は昭和50年代に、指宿市教育委員会社会教育課が市政事務嘱託員に依頼し、各地区の民俗資料収集を行ったもので構成される。

2　資料の記載は、資料番号・資料名・種別・数量・使用地もしくは収集地・計測値・備考とした。

3　資料番号は便宜上付したものである。

4　資料名称は、下記の文献によって記述し、下記文献に収録されないものについては、地元での呼称を収録した。この際、他と区別する意味で表記の方法として、カタカナ表記とした。

5　種別は、用途に応じ記述した。

6　計測値は、ｍｍ単位で表記した。

7　備考欄には、寄贈者名・銘・形状的特徴等を記したが、特に寄贈者が不明なものについては、明記していない。

8　民俗資料の目録化については、中摩浩太郎が行った。

<参考文献>

・日本民具学会編，(1997)．日本民具辞典．東京：株式会社ぎょうせい
・鹿児島県歴史資料センター黎明館編，(1996)．鹿児島県歴史資料センター黎明館収蔵品目録（XII)，民俗（２)．

資料番号	資料名	種別	数量	使用地or採集地	計測値（単位：cm）	備　考
F001	短床犁	農耕具	1	指宿市	長1260・犁幅長1170	
F002	短床犁	農耕具	1	指宿市	長1140・犁幅長1340	「十町」銘入
F003	両用犁	農耕具	1	指宿市	長1140・犁幅長1340	「日の本號　両用犁」銘入
F006	杵	製造用具	1	指宿市	長430・柄長740	
F005	馬鍬	農耕具	1	指宿市	高680・幅980	歯９本
F004	削斧（はつりよき）	木工具	1	指宿市	刃渡210・幅210・柄長950	表に７・裏に６本の刻み目
F007	削斧（はつりよき）	木工具	1	指宿市	刃渡200・幅300・柄長860	「７つ目の斧」・銘あり判読不能
F008	木挽鋸・鋸鞘	木工具	2	指宿市	刃渡560・長900・高350	
F009	ミゾホリ	農耕具	1	指宿市	長1580・刃長240・刃幅180	
F010	木挽鋸	木工具	2	指宿市	刃渡570・長890・高300	
F011	座敷帚	掃除用具	1	指宿市	長730	
F012	駄手籠	家具調度品	1	指宿市	幅570・奥行500・高330	福崎フサ氏寄贈
F013	蛸壺	漁具	1	指宿市	高260・口径115	「高橋三口」銘
F014	大鋸	木工具	1	指宿市	刃渡2140・幅2230・高120	
F015	剪定鉄	植木道具	1	指宿市	長675・幅70・柄355	
F016	木挽鋸	木工具	1	指宿市	刃渡560・長920・高360	
F017	木挽鋸	木工具	1	指宿市	刃渡580・長990・高340	
F018	木挽鋸	木工具	1	指宿市	刃渡550・長820・高330	
F019	木挽鋸	木工具	1	指宿市	長900・高130	
F020	木挽鋸	木工具	1	指宿市	刃渡510・長810・高300	「山沢政遊」銘
F021	はらい鎌	農耕具	1	指宿市	刃渡530・柄140	
F022	スコップ	農耕具	1	指宿市	長990(柄610)・幅200	「湯ノ上」銘
F023	木挽鋸	木工具	2	指宿市	長700・高110	
F024	長持	家具調度品	1	指宿市	幅1665・奥行600・高795	
F025	瓶	炊事用具	1	指宿市	高460・直径240	
F026	土入	農耕具	1	指宿市	長1532・幅	
F027	土入	農耕具	1	指宿市	長1388・幅149	
F028	木挽鋸	木工具	2	指宿市	刃渡570・長890・高300	
F029	除草機	農耕具	1	指宿市	長1450(柄1050)・幅375	

資料番号	資料名	種別	数量	使用地or採集地	計測値（単位：cm）	備　考
F030	ばら	製造用具	1	指宿市	直径620	
F031	削斧（はつりよき）	木工具	2	指宿市	刃渡200・柄長1554	鞘付
F032	鍬	農耕具	1	指宿市	長587・幅116・柄長950	
F033	ばら	製造用具	3	指宿市	直径885	
F034	万力	林業具		指宿市	直径155・長300	
F035	エブリ	農耕具	1	指宿市	長117(柄1783)・幅617	歯数7
F036	エブリ	農耕具	1	指宿市	長40(柄1382)・幅375	歯欠損
F037	万力	林業具	1	指宿市	直径137・長322	
F039-1	万力	林業具	1	指宿市	直径164・長250	
F039-2	カン（鎖）	林業具	1	指宿市	長217・幅62	
F040	カン（鎖）	林業具	1	指宿市	長253・幅70	
F041	千歯扱	農耕具	1	指宿市	幅1095・高63	歯欠損
F042	鑿	石工具	1	指宿市	長105・幅52	「谷山口」銘
F043	削斧（はつりよき）	木工具	1	指宿市	刃渡195・幅190・柄長420	
F044	メシゲ（しゃもじ）	炊事用具	1	指宿市	長976・幅193	
F045	メグイ	農耕具	1	指宿市	長782(柄1610)・幅154	先端4本
F046	メグイ	農耕具	1	指宿市	長943(柄1870)・幅193	先端1本
F047	裏打鎌	農耕具	1	指宿市	長264・幅87	
F048	木挽鋸	木工具	2	指宿市	刃渡500・長740・高180	柄欠損
F049	土人形	玩具	1	指宿市	高295・幅105	母子像・小吉辰志氏寄贈
F050	土人形	玩具	1	指宿市	高260・幅133	金太郎像・小吉辰志氏寄贈
F051	土人形	玩具	1	指宿市	高315・幅135	女性像
F052	土人形	玩具	1	指宿市	高300・幅125	女性像
F053	土人形	玩具	1	指宿市	高230・幅150	武者像（武田信玄）
F054	土人形	玩具	1	指宿市	高205・幅200	金太郎像・「山上夜助」
F055	土人形	玩具	1	指宿市	高280・幅130	踊り子像・小吉辰志氏寄贈
F056	土人形	玩具	1	指宿市	高290・幅170	金太郎像・小吉辰志氏寄贈
F057	土人形	玩具	1	指宿市	高270・幅140	琵琶奏者・小吉辰志氏寄贈
F058	土人形	玩具	1	指宿市	高320・幅130	女性像・「本郷栄造」
F059	土人形	玩具	1	指宿市	高290・幅160	金太郎像・「小吉實治」
F060	土人形	玩具	1	指宿市	高320・幅140	女性像・「小吉トシ子」
F061	土人形	玩具	1	指宿市	高325・幅170	武者像（武田信玄）・「中吉誠」

資料番号	資料名	種別	数量	使用地or採集地	計測値（単位：cm）	備　考
F062	土人形	玩具	1	指宿市	高245・幅140	男児像
F063	土人形	玩具	1	指宿市	高300・幅145	女性像
F064	土人形	玩具	1	指宿市	高295・幅165	「小吉□武」
F065	土人形	玩具	1	指宿市	高200・幅165	力士像
F066	土人形	玩具	1	指宿市	高180・幅160	浦島太郎像
F067	土人形	玩具	1	指宿市	高250・幅175	浦島太郎像
F068	土人形	玩具	1	指宿市	高175・幅160	女性像
F069	土人形	玩具	1	指宿市	高260・幅160	金太郎像
F070	土人形	玩具	1	指宿市	高150・幅110	内裏像
F071	土人形	玩具	1	指宿市	高355・幅180	内裏像
F072	土人形	玩具	1	指宿市	高360・幅200	力士像
F073	土人形	玩具	1	指宿市	高320・幅150	武者像（武田信玄）

F49

F52

F53

F55

F56

F57

F58

F59

F60

F61

F62

F63

収蔵民具写真（記号番号は、一覧表に対応）

七、細川幽斎（玄旨）書状島津義久（龍伯）宛

【原文】

（引点）

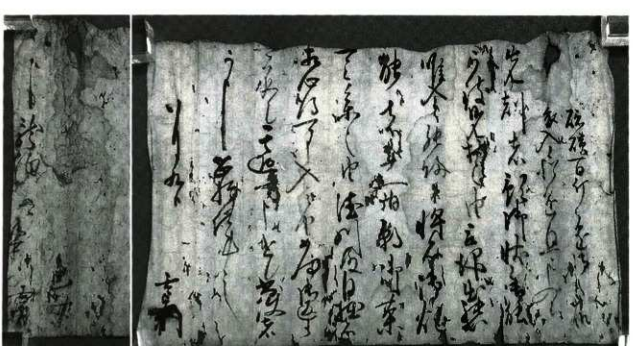
龍伯　人々御中　　玄旨

（折目）

硫硫百斤被遂御意候、
畏入候猶逐日可申入候、

先刻者預御状候、御能
可致見物之由被仰出罷出、
唯今罷帰候、将亦御頓
能者、十一日朝御茶
可被参之由徳川殿自拙者
相心得可申入之由如何御返事
可承以候、其返可申遣候、尚使者
可申候、恐惶謹慎、

八月九日　　玄旨　（花押）



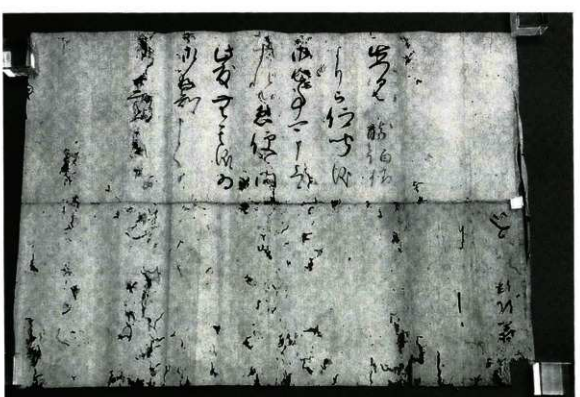
六、島津又八郎（忠恒）書状比志嶋紀伊守（国貞）宛　（折紙）

【原文】

先日者龍伯様
より被仰聞儀
御返事可申上候
すれ共、急便候間
此度無其儀候、為
御存知候、かしく、

廿二日
（切封）

比志紀伊　又八（忠恒）より



五、近衛三藐院（信尹）書状比志嶋紀伊守（国貞）宛

【原文】

□□□者宗岩
かた迄御越状令
祝着候、不例之由
如何候哉無心
許候少将へ以
使札申候之間
乍次染筆候、

かしく

七月十七日　（信尹）（花押）

比志嶋紀伊守
とのへ

四、伊勢貞昌書状大龍寺（文之和尚）宛

【原文】

（端裏書）

謹上　大龍寺

玉机下

貞昌

穆々ノ字如何、深遠之兒子有之間如此□（意）ニ

而有之候哉、乍去文王ノ事ヲモ詩ニ穆ゝ□（とカ）

有之間、天ノ事ニハ如何、承度候、以上、

新年之祝詞重ゝ、日之昨所示、

之試毫句々言々希有ゝゝ、

非所予之鞏之及、而論善悪

者還多罪ゝゝ、又愚乱書以備、

高覧、辞之改削所屈幾候、

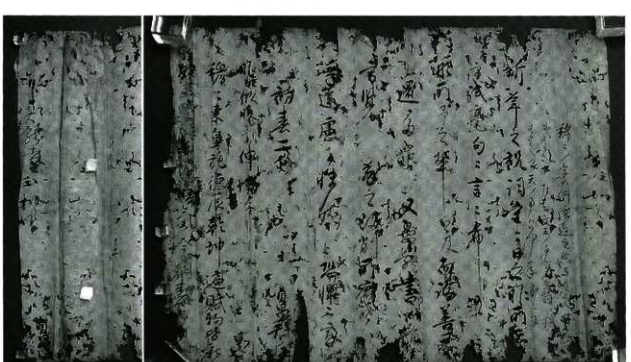
無遠慮者快然ゝゝ、恐惶不宣、

初春二日　　貞昌拝

昨日欣暖気伸懐云

穆々東皇施徳辰　乾坤遍賦物皆新

好□□□□官途　暖気今朝春野□



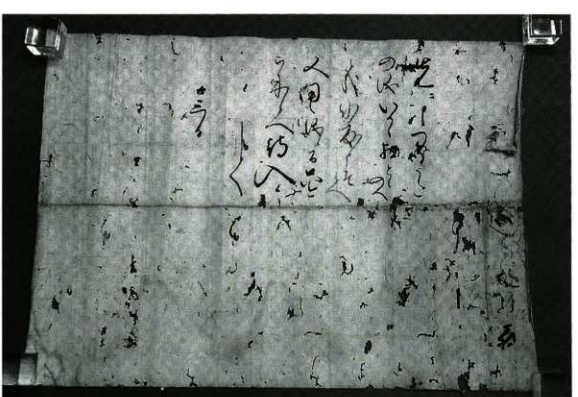
三、島津又八郎（忠恒）書状比志嶋紀伊守（国貞）宛（折紙）

【原文】

先ニ申候つるうた
の儀いかゝ相とゝのへ
候哉、承度こそ候へ、
又用之儀候間只今
被来候へ、待入候、
かしく、

廿三日

ー――　より
（忠恒）
比志紀伊　又八



被仰付候共露塵程もなけかしく存
申ましく候事
一　勿論なから少茂御無理と不存候、寔(儀)三ヶ
条共ニ申たつ□・有之候、紀伊事別而□□
召仕候一筋にて候間御糺明御座候様ニ御取分頼
入候、此由摂津老へ直　申度候へ共、とても御あい被成
(如斯カ)
間敷候条□□申入候様被仰候而可被下候、以上、

(少輔)国隆

比志嶋宮内□□（花押）

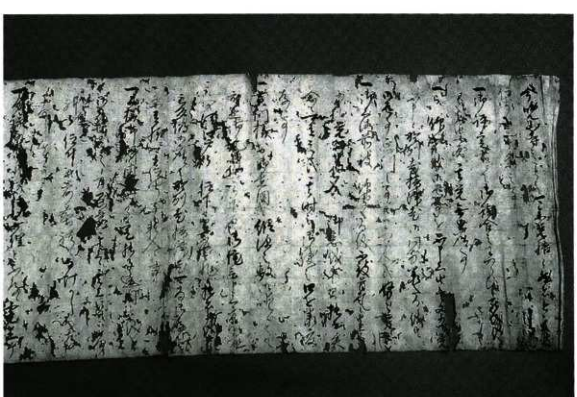
(辰カ)
□(寛永五年カ)
正月廿八日

吉利下総守(忠澄)殿
参

二、比志嶋国隆書状吉利下総守（忠張）宛

【原文】

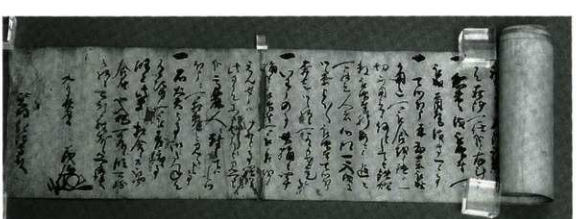
今晩山寺之ことく可参覚悟ニ候、然者今度被
仰聞　三ヶ条之事
一　御評定所ニて御談合之わつらひに罷成儀を
申たる由一圓ニ其覚無御座候事、
一　被仰出候儀ニ御返事を不申上由是又少茂覚
不申候、野州老・摂津老御同前承たる儀共ニ
御返事延引之事共ハ候つらん哉、努々覚不申候事、
一　御上洛前ニ被仰聞たる儀不致首尾之由□□
にも覚不申、被成御意儀共ニ候間拙者失
念も可有之候哉、其時之御使之口を承度
存候事、
一　黄門様於御在国者、縦深々敷御噯候とも
躰被遂御糺明可被下通御侘言申上度心底
候へ共、従江戸被仰下候間不及是非、拙者申儀
毛頭偽御座候者、野州老・摂津老可為御存知候
条有様ニ可被仰聞事頼入候事、
一　上様御帰国之時分定拙子違目之儀も
御尋可有之候間愚意可申上候、其上にてハ如何



人衆心得可入儀に候之条、よく〳〵被仰付、てつほう
奔走候之様ニ可有御才覚事、
一いわうの事、皿桶も四十桶も被仰付、可被差越候、え
んせうハけにと事闕候者、此方にてにさせ候ても見可
申哉、高麗人ニ対してハてつほうニ可相究と見へ申候
事、
一石火矢の事御たつね候て、有次第可被差渡候事、餘者
此使江相含候間、被聞食届、御入魂所仰候段、可然之
様ニ可預御披露候、恐々謹言、

九月廿九日　　義弘（花押）
（文禄二年）
比志嶋紀伊守殿

島津義弘花押



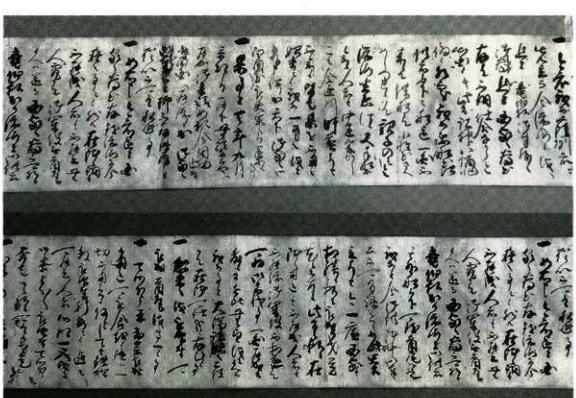
令出國候き、此旨諸神八幡非偽候、然處我等乗船を始、供衆已下之船迄一圓不來候て、借船にて小姓をさへめしつれ候ハて、親子のミ令渡海、迷惑仕候、又手船等参候人衆も中途爰かしこに令延引、肝煎とても不参候、皆是某を不用之始末ニ候、我等一身之儀者不及申、併於天下御家之御面目を被失果たる迄に候事、

一某事者、去年九月京都より罷下、無程なこやへ罷出、御普請如形令周備、追付當國へ罷渡立、於御家之御奉公者、聊不存疎略候、猶以不可有私曲事、

一如右申候、今度迄者國家之為を存致渡海、于今在之事ニ候、然共在陣之調も不罷成、人衆も不罷成、無人究にて御軍役無首尾候へハ、還而國家之為不可然候、竜伯様於御渡海者、御供衆其外船被下可致首尾候歟、我等も令御供陣中御奉公不可有疎意候、如此思召立候得者、今一廉國家も相続候様ニ被成御才覚尤令存候、此間之様ニ在陣之用意も不罷成、人衆も不罷渡、御軍役不相応にて可為御名代事、一圓罷成間敷候間、近比無望儀ニ候へ共、我等事者大隅諸縣之公役にて、在陣可仕哉と存計候事、

一懸米之儀被仰付、可被成首尾儀専一候事、

一てつほう并玉薬被成御用意、可被食越候、鑓ハ一切不用立候、何としても鉄砲数被仰付肝要ニ候、追々可罷立

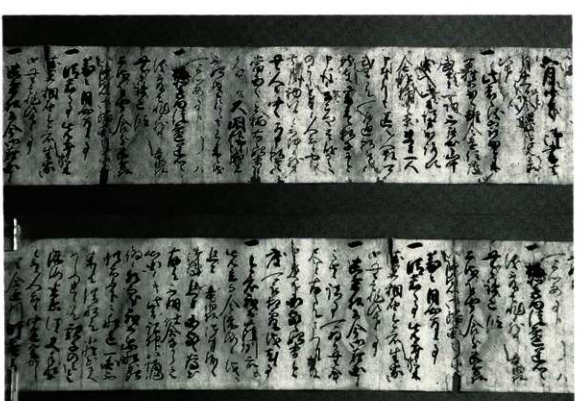


一、島津義弘書状比志嶋紀伊守（国貞）宛

（鹿児島県史料『旧記雑録　後編二』970号文書参照）

【原文】

六月廿日（己上）之御書、去月十一日令頂戴、拝見恭次第候、
一此表之儀、最前已來百姓等少々雖令還住、為武士者一切不罷出、山中曳入、此方彼方於路次企鉾楯候之条、使者一人申付候て茂、送之人数百弐百にて可罷通様無之候、就夫、爰元之様子、于今申後候、なこや壱岐なとへのこしをき候人衆も、やう〳〵去月初八日参陣候、然間無人共中々可申様無之候、當國之立柄右之始末に候へ共、太閤様御威光不始儀共ニ候之間、已來之儀可御心安事、
一梅北宮内徒党逆心之儀、不及是非候、然共、竜伯様無御疎意段、公義被聞食分、幽斎様以御同心御帰國之由候、萬々目出存候事、
一晴蓑之事、先年已來依不相届、今度生界之由、無是非次第候事、
一幽斎様于今御在國之由候、諸事可為御無会尺と存たてまつり候、不及申候へ共、國家之始末、今度可被相究儀尤候事、
一今度我等薩州ニ先立而令渡海候之儀、且ハ　竜伯様御身躰之御為、且者國家之為を存候て、不調仕合なから



比志嶋（紀伊守）家古文書　目次

例言……
一　文祿元年・九・廿九　島津義弘書狀比志嶋紀伊守（国貞）宛……76
二　寛永五年・辰・　比志嶋国隆書狀吉利下総守（忠張）宛……72～74
三　・　・廿三　島津又八郎（忠恒）書狀比志嶋紀伊守（国貞）宛……70～71
四　・　・　伊勢貞昌書狀大龍寺（文之和尚）宛……69
五　・七・十七　近衛三藐院（信尹）書狀比志嶋紀伊守（国貞）宛……68
六　・　・廿二　島津又八郎（忠恒）書狀比志嶋紀伊守（国貞）宛……67
七　・八・七　細川幽斎（玄旨）書狀島津義久（竜伯）宛……66

写真図版目録

図版一　島津義弘書狀比志嶋紀伊守（国貞）宛……65
比志嶋国隆書狀吉利下総守（忠張）宛……72～74
図版二　島津又八郎（忠恒）書狀比志嶋紀伊守（国貞）宛……70～71
伊勢貞昌書狀大龍寺（文之和尚）宛……69
図版三　近衛三藐院（信尹）書狀比志嶋紀伊守（国貞）宛……68
島津又八郎（忠恒）書狀比志嶋紀伊守（国貞）宛……67
図版四　細川幽斎（玄旨）書狀島津義久（竜伯）宛……66

例　言

一、本編は、指宿市教育委員会の所管の指宿市考古博物館、時遊館ＣＯＣＣＯはしむれへの史料寄贈に伴って、原本の史料紹介を行ない、史料の保存・活用に資するためのものである。ここでは、原本のみの掲載を行なう。

一、翻刻にあたり、【原文】を原本のまま組み、次に【読み下し】文を掲げ、【原文】の右傍に正字・通用の書体を註す。片仮名は、原本に従い、変体仮名は【原文】では原字に復し、【読み下し】文では、すべて平仮名とする。原本の記載にあたっては、当用漢字を可能な限り使用した。

一、原史料に蠹蝕などによる欠損文字で、字数が明確なものは、その字数を算定して□を挿入し、文字の判明するものは、その右傍に該当する文字を註す。また、史料本来の折目・糊付の部分や、欠失している場合には、折紙…（折目）…、続紙…（紙継目）…、「（後欠）」のように、それぞれの箇所に註す。

一、古文書に関わる要目のうち、料紙（紙質）・法量・形状（竪紙・折紙・続紙）は、解説の項に記す。また、自署・花押に付した番号は、図版番号と一致する。

一、史料調査は、鹿児島大学名誉教授五味克夫先生により実施された。本編の編集は指宿市教育委員会社会教育課主事下山覚が行い、写真撮影は、指宿市教育委員会社会教育課主事中摩浩太郎・鎌田洋昭が行なった。

一、この調査および原稿作成に際しては、鹿児島大学名誉教授五味克夫先生、鹿児島ラ・サール学園教諭永山修一先生の御教示を頂いた。記して謝意を表する。

比志嶋（紀伊守）家古文書（一）

指宿市考古博物館
時遊館 C・C・C・はしむれ
平成９年度
博物館紀要・年報

1998年3月発行

発行：指宿市考古博物館
指宿市十二町2290
TEL0993-23-5100 FAX0993-23-5000
E-mail cocco@po.minc.ne.jp
印刷：（株）朝日印刷
鹿児島市上荒田町854-1
TEL099-251-2191 FAX099-253-7331